

大会で金5個を獲得

男子 -66kg 級・-73kg 級、女子 -52kg 級・+78kg 級、男女混合団体



世界柔道選手権東京

2019世界柔道選手権東京大会は、8月25日から9月1日まで8日間、男女個人戦各7階級と男女混合団体戦が東京オリンピックの会場となる日本武道館で開催された。武道の聖地・日本武道館での世界柔道選手権開催は初となる。世界選手権で過去最高となる147の国と地域から男女総勢841名の選手が集い、世界一の称号を目指し、白熱した試合が展開された。

日本代表選手は個人戦で男女各7階級に18名がエントリーし、金4個、銀6個、銅5個の計15個のメダルを獲得した。

また最終日に行われた団体戦では、決勝でフランスを4―2で破り、大会3連覇を達成した。





女子
-52kg

金

ABE Uta

阿部詩が大会2連覇



〔準決勝〕

阿部詩

(白) ○横四方固 (GS3分15秒)

▲マイリンダ・ケルメンティ (ヨソボ)



【決勝】
阿部詩○袖釣込腰（0分30秒） ▲ナタリア・クズティナ（ロシア）
開始30秒、阿部が両袖を持ち、右袖釣込腰に入るとクズティナが必死に堪える。阿部は内股のように一気に足を跳ね上げてクズティナを一回転させ、あっという間に決着をつけた



【3回戦】
阿部詩（白）○大外刈（2分58秒）
▲ディヨラ・ケルディオロワ（ウズベキスタン）



【2回戦】
阿部詩（白）○隅落（1分36秒）
▲ラリッサ・ピメンタ（ブラジル）



男子
-66kg

金

MARUNAWA Jushiro
丸山城志郎 悲願の初優勝



【準決勝】

丸山城志郎 (白) ⊖技有〔浮技〕(GS 3分 46秒) ▲阿部一二三 (日本)

事実上の決勝戦となった阿部戦。丸山は本戦4分で指導2まで追い込まれるも、GSに入ってから圧をかけて主導権を握る。勝負に出た丸山は阿部を抱き抱え、捨身で放った浮技で技有を奪い決勝戦へ。





男子-66kg級の入賞者
 左から銀メダルのキム・リマン（韓国）、金メダルの丸山城志郎（日本）、
 銅メダルの阿部一三（日本）とデニス・ヴィエル（モルドバ）

〔決勝〕
 丸山城志郎（白）○合技（内股・腰専）（3分31秒）
 ▲キム・リマン（韓国）



〔4回戦〕
 丸山城志郎（白）○合技（内股）（4分00秒）
 ▲サドル・ヌラエフ（ウズベキスタン）



〔3回戦〕
 丸山城志郎（白）○内股（2分48秒）
 ▲アドリアン・コンボッチ（スロベニア）



〔2回戦〕
 丸山城志郎（白）○内股（4分00秒）
 ▲パヴェル・ペトリコフ（チェコ）



男子
-73kg

金

大野将平 全一本勝の圧勝

ONO Syukei



【準決勝】

大野将平(白) ○合技〔巴投・崩袈裟固〕(3分46秒) ▲デニス・イアルツェフ(ロシア)



男子-73kg級の入賞者

左から銀メダルのルスタン・オルジョフ（アゼルバイジャン）、金メダルの大野将平（日本）、銅メダルのデニス・イアルツェフ（ロシア）とヒダヤット・ヘイダロフ（アゼルバイジャン）



【準々決勝】

大野将平（白）○腕挫十字固（3分34秒）▲ビラリ・ジログル（トルコ）



【決勝】

大野将平○内股（1分17秒）▲ルスタン・オルジョフ（アゼルバイジャン）

リオ五輪の決勝と同じ顔合わせ。大野は自分のスタイルを崩すことなく攻めの姿勢を貫き、狙いました内股でオルジョフを跳ね上げる。逃れようとしたオルジョフだったが、大野は足を横に開くように追いかけて、しっかりコントロールして背中から落として一本を奪った。



【3回戦】

大野将平（白）○内股（1分22秒）▲ユニス・エヤル＝スルマン（ヨルダン）



【4回戦】
大野将平（白）○太外刈（1分45秒）
▲ラシヤン・シャウタトワアンヴィリシヨージア



女子
+78kg



素根輝が初出場
で初V

SONE Akihiro



【準決勝】

素根輝 (青) ○合技〔体落・崩裂袈固〕(0分27秒) ▲カイラ・サイト (トルコ)



女子 +78kg 級の入賞者

左から銀メダルのイダリス・オルティス（キューバ）、金メダルの素根輝（日本）、銅メダルのカイラ・サイト（トルコ）、朝比奈沙羅（日本）



【1回戦】
素根輝（白）○反則（指導3）（3分41秒）
▲ラリサ・セリッチ（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

【決勝】
素根輝○反則（指導3）（GS4分9秒）
▲イダリス・オルティス（キューバ）
素根が左、オルティスが右のケンカ四つ。序盤から激しい組手争いが展開される。計算された戦術で勝ち抜いてきたオルティスに対し、全く引けをとらない素根。素根は釣手のみでも圧力をかけ前に出て、最終的にオルティスに指導を3つ与え、初優勝を飾った。



【3回戦】
素根輝（白）○上四方固（1分10秒）▲ハン・ミジン（韓国）



男女混合
団体戦

金

日本が
仏を破り
3連覇



【1試合目・90kg 超級】
影浦心（白）○送足弘（GS 1分 24 秒）▲C・マレ



【3試合目・73kg 級】
大野将平（白）○合技〔内股・巴投〕（0分 31 秒）▲G・シェーヌ



【優勝した日本代表団体戦メンバー】

後列左から原沢久喜、村尾三四郎、大野将平、玉置桃、素根輝、濱田尚理、新井千鶴
 前列左から向翔一郎、橋本壮市、影浦心、芳田司、大野陽子



【6試合目・70kg超級】

濱田尚理 (白) ○縦四方固 (1分22秒)
 ▲マドレーヌ・マロンガ



【4試合目・70kg級】

新井千鶴 (白) ○崩袈裟固 (3分37秒)
 ▲マリー=イヴ・ガイエ



【5試合目・90kg級】

村尾三四郎 (白) ▲三角絞 (GS 5分34秒)
 ○アクセル・クレルジェ



【2試合目・57kg級】
 芳田司 (白) ▲大外刈 (0分24秒)
 ○サハロレオニー・シンク



女子
-48kg

銀

渡名喜風南 2大会連続の銀

【決勝】

渡名喜風南(白) △技有(払腰)

○ダリア・シロヤクマ(ウクライナ)



【3回戦】

渡名喜風南(白) ○崩上四方固(1分35秒)

▲エヴァ・チェルノヴィツキ (ハンガリー)



【2回戦】

渡名喜風南(白) ○横四方固(3分47秒)

▲サビナ・ギリアゾワ (ロシア)



【準決勝】

渡名喜風南(白) ○袖釣込腰(3分34秒)

▲ディストリア・クラスニキ (コソボ)



女子
-57kg

銀

芳田司
ライバル
出口に敗れる



【3回戦】
芳田司 (白) ○内股 (2分 33秒)
▲サンネ・フェルハーフェン (オランダ)



【2回戦】
芳田司 (白) ○腕緘 (2分 55秒)
▲エレヌ・ルスヴォ (フランス)



【準決勝】
芳田司 (白) ○一本背負投 (GS 2分 25秒) ▲ラファエラ・シウバ (ブラジル)



【決勝】
芳田司 (白) ▲技有 (谷落) (GS 2分 26秒)
○出口クリスタ (カナダ)

女子
-63kg

銀

田代未来 世界女王に惜敗



【決勝】

田代未来 (青) ▲技有〔大外巻込〕(GS 7分 11秒) ○クラリス・アグベニュー (フランス)



決勝戦終了後、健闘を称え合う両者



【準決勝】

田代未来 (青) ○反則〔DH〕(1分 21秒)
▲ティナ・トルステニャク (スロベニア)



【準々決勝】

田代未来 (白) ○合技〔小外刈・小外刈〕(3分 14秒)
▲サンネ・フェルメール (オランダ)



【3回戦】

田代未来 (白) ○肩固 (1分 58秒)
▲アンリケス・バリオス (ベネズエラ)



男子
-90kg

銀

向翔一郎 悲願の金に一步届かず



【準々決勝】

向翔一郎 (青) ○GS小内刈 (GS 2分36秒)
▲イワン=フェリペ・シルバ=モラレス (キューバ)



【2回戦】
向翔一郎 (白) ○背負投 (1分57秒)
▲ウイクトル・クリアウサウ (ペルー)



【準決勝】

向翔一郎 (青) ○反則 [指導3] (GS 2分17秒)
▲マーカス・ナイマン (スウェーデン)



【決勝】
向翔一郎 (意) ▲技有 (糸外刈)
○ノエル・ファンテンド (オランダ)



女子
-78kg

銀

濱田尚里 寝技女王は悔しい銀



【2回戦】
濱田尚里 (白) ○合技 (谷落・横四方固) (3分 36 秒)
▲リリアナ・カルデナス (メキシコ)



【3回戦】
濱田尚里 (白) ○大内刈 (0分 42 秒)
▲ソフィー・ベルガー (ベルギー)



【準決勝】
濱田尚里 (青) ○腕緘 (0分 49 秒)
▲クララ・アポテカー (スロベニア)



【決勝】
濱田尚里 (青) ▲大外返 (2分 24 秒) ○マドレーヌ・マロンガ (フランス)



男子
+100kg

銀

原沢久喜 王者不在に頂点逃す

【決勝】
原沢久喜 (白) △反則 (指導3) (GS3分50秒)
○ルカシュ・クルバレク (チェコ)



【準決勝】
原沢久喜 (青) ○合技 (浮腰・横四方) (2分49秒)
▲グラム・ツシヴィリ (ジョージア)



【2回戦】
原沢久喜 (白) ○合技 (内股・崩壊袈固) (3分27秒)
▲ステファン・ヘギー (オーストリア)



【3回戦】
原沢久喜 (白) ○小内刈 (3分49秒)
▲ナイダン・ツヴシンバヤル (モンゴル)



男子
-60kg

銅

永山竜樹 悔しさにじむ銅

【3位決定戦】
永山竜樹 (意)

○合技 (隔返・横四方固) (4分00秒)

▲高藤直寿 (日本)



【準決勝】
永山竜樹 (意)

△技有 (浮落) (GS1分53秒)

○ルミ・チフヴィミアニ (ジョージア)



【3回戦】
永山竜樹 (白)

○合技 (背負投・背負投) (3分36秒)

▲モリッツ・プラフキー (ドイツ)



【準々決勝】

永山竜樹 (白) ○合技 (浮落・一本背負投) (3分18秒)

△イェルドス・スヌトフ (カザフスタン)





女子
-52kg

銅

志々目愛 五輪女王に完敗も銅



【敗者復活戦】

志々目愛 (青) ⊖ 技有 [内股巻込] (GS 4分 37 秒)
▲チェルシー・ジャイルス (イギリス)



【3回戦】

志々目愛 (白) ⊖ 技有 [内股] (4分 00 秒)
▲レカ・ブツ (ハンガリー)



【2回戦】

志々目愛 (白) ⊙ 合技 [内股・横四方固] (2分 24 秒)
▲アンバル・リヘウ (ベルギー)



【3位決定戦】

志々目愛 (白) ⊙ 合技 [背負投・崩袈裟固] (4分 00 秒)
▲アモンディーヌ・ブシャー (フランス)



男子
-66kg

銅

阿部一二三

3年ぶり王者陥落



【3位決定戦】

阿部一二三（青）○釣腰（GS 1分40秒）▲マニュエル・ロンバルド（イタリア）



【3回戦】
阿部一二三（白）○袖釣込
腰（0分41秒）▲マー・ド
ウァンレン（中国）



【2回戦】
阿部一二三（白）○背負投
（0分34秒）▲アルベルト・
ガイテロ・マルティン（ス
ペイン）



【準決勝】

阿部一二三（青）▲技有〔浮技〕（GS 3分46秒）○丸山城志郎（日本）



男子
-100kg

銅

ウルフアロン 王座奪還ならず



【3位決定戦】
ウルフアロン(白) ○技有(隅落) (4分00秒)
▲エルマー・ガシモフ (アゼルバイジャン)



【準々決勝】
ウルフアロン(青) ▲技有[一本背負投] (GS1分16秒)
○チョ・グハン (韓国)



【3回戦】
ウルフアロン(白) ○技有(内股) (3分18秒)
▲シャディー・エルハス(カナダ)



【敗者復活戦】
ウルフアロン(白) ○大外刈 (2分55秒)
▲シャディー・エルハス(カナダ)

女子
+78kg

銅

朝比奈沙羅 意地の銅メダル



【3位決定戦】

3位決定戦 朝比奈沙羅(白)○払巻込(3分56秒)▲マリア = スエレン・アルセマン(ブラジル)



【敗者復活戦】

朝比奈沙羅(白)○支釣込足(2分20秒)
▲ラリサ・セリッチ(ボスニア・ヘルツェゴビナ)



【準々決勝戦】
朝比奈沙羅(白)▲反則(指導3)(3分44秒)
○カイラ・サイト(トルコ)



【3回戦】

朝比奈沙羅(白)○払巻込(3分10秒)
▲ミリカ・ザピッチ(セルビア)

男子 60 kg 級
高藤直寿 (5位)



【3位決定戦】
高藤直寿 (白) ▲合技〔隅返・横四方固〕
(4分00秒) ○永山竜樹 (日本)



【準々決勝】
高藤直寿 (白) ▲払巻込 (3分10秒)
○シャラフジン・ルトフィラエフ (ウズベキスタン)



【3回戦】
新井千鶴 (白) ▲技有〔払巻込〕
(4分00秒) ○バルバラ・ティモ
(ポルトガル)

女子 70 kg 級
新井千鶴 (敗3回戦)



【2回戦】
藤原崇太郎 (白) ▲技有〔大内刈〕 (4分00秒)
○シャロフィディン・ボルタボエフ (ウズベキスタン)

男子 81 kg 級
藤原崇太郎 (敗2回戦)

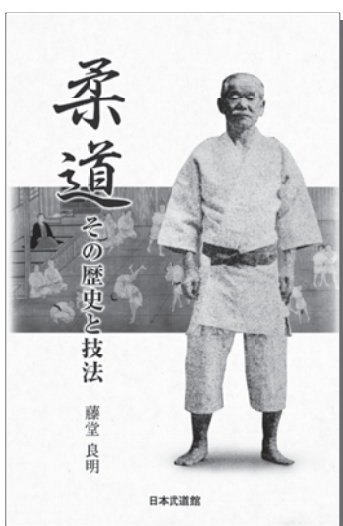
【大会結果】	金	銀	銅	日本選手
◆男子				
100kg 超級	ルカシュ・クルバレク (チェコ)	原沢久喜 (百五銀行)	キム・ミンジョン (韓国) ロイ・メイヤー (オランダ)	
100kg 級	ジョルジ・フォンセカ (ポルトガル)	ニヤズ・イリアソフ (ロシア)	マイケル・コレル (オランダ) ウルフアロン (了徳寺大学職)	
90kg 級	ノエル・ファンテンド (オランダ)	向翔一郎 (ALSOK)	アクセル・クレルジェ (フランス) ネマニャ・マイトフ (セルビア)	
81kg 級	サギ・ムキ (イスラエル)	マティアス・カッス (ベルギー)	アトワス・ヴァア=フォルティエ (カナダ) ルカ・マイスラゼ (ジョージア)	藤原崇太郎 (日本体育大) = 2回戦敗退
73kg 級	大野将平 (旭化成)	ルスタン・オルジョフ (アゼルバイジャン)	ヒダヤット・ヘイダロフ (アゼルバイジャン) デニス・イアルツェフ (ロシア)	
66kg 級	丸山城志郎 (ミキハウス)	キム・リマン (韓国)	阿部一二三 (日本体育大) デニス・ヴェイエル (モルドバ)	
60kg 級	ルフミ・チフヴァミアニ (ジョージア)	シャラフディン・ルトフィラエフ (ウズベキスタン)	永山竜樹 (了徳寺大学職) イェルドス・スモフ (カザフスタン)	高藤直寿 (パーク24) = 5位
◆女子				
78kg 超級	素根輝 (環太平洋大)	イダリス・オルティス (キューバ)	朝比奈沙羅 (パーク24) カイラ・サイト (トルコ)	
78kg 級	マドレーヌ・マロンガ (フランス)	濱田尚里 (自衛隊体育学校)	ロリアナ・クカ (コソボ) マイラ・アギアール (ブラジル)	
70kg 級	マリー=イヴ・ガイエ (フランス)	バルバラ・ティモ (ポルトガル)	サリー・コンウェイ (イギリス) マルゴ・ピノ (フランス)	新井千鶴 (三井住友海上) = 3回戦敗退
63kg 級	クラリス・アグベニュー (フランス)	田代未来 (コマツ)	マルティナ・トライドス (ドイツ) ユール・フランセン (オランダ)	
57kg 級	出口クリスタ (カナダ)	芳田司 (コマツ)	ユリア・コヴァルツィク (ポーランド) ラファエラ・シウバ (ブラジル)	
52kg 級	阿部詩 (日本体育大)	ナタリア・クズティナ (ロシア)	志々目愛 (了徳寺大学職) マリリンダ・ケルメンディ (コソボ)	
48kg 級	ダリア・ピロディ (ウクライナ)	渡名喜風南 (パーク24)	デイストリア・クラスニキ (コソボ) ムンバット・ウランツェツェグ (モンゴル)	
◆男女混合団体	日本	フランス	ブラジル、ロシア	

好評発売中!

柔道 その歴史と技法

筑波大学名誉教授 藤堂 良明 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円+税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた「武道としての柔道」を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

目次

<p>第一章 組討ちの起こりと技法 体術の起こりと技法 組討ちの体系化と技法</p> <p>第二章 柔術諸流派の歴史と技法 竹内流腰廻 関口新心流柔術 起倒流柔術 起倒流柔道 直信流柔道 真之神道流柔術 天神真楊流柔術</p>	<p>第三章 講道館柔道の歴史と技法 講道館柔道の創設と技法 嘉納治五郎の乱取開発 講道館柔道の行事と整備 警視庁武術大会の勝利と技法 学校体操への柔道導入の試み 学校における柔道普及の実態 高専柔道の起こりと技法 嘉納治五郎の他武道への接近 精力善用国民体育の創案と技法 全日本柔道選手権大会の開催と技法</p>	<p>第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法 第二次大戦中の柔道界と技法 第二次大戦後の柔道禁止と復活 格技柔道から武道柔道へ 女子柔道の競技化と技法</p> <p>第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題 柔道技法の変遷と特徴 柔道の国際的普及と発展 段位制度の国際比較 柔道の国際化と課題</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

好評発売中！

公益財団法人講道館道場指導部課長

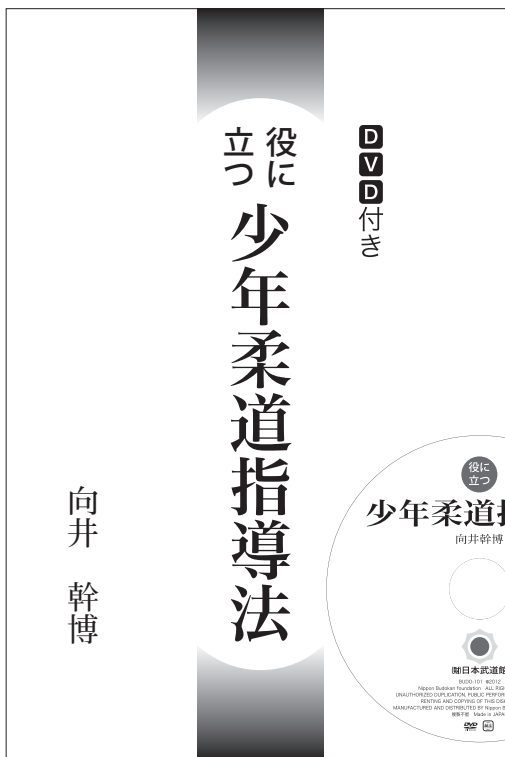
向井幹博

(むかい みきひろ) 著

役に立つ

少年柔道指導法

収録時間170分を超える
解説DVD付属！



A5判・並製・DVD付・414頁・本体2400円十税

少年柔道指導の現場で役に立つ好評連載を単行本化。付録のDVDには、写真では伝わりにくかった部分を映像で紹介。

また、少年柔道が抱える様々な問題を、講道館所蔵の柔道文献から、解決の糸口を探っていく。

- 〈目次〉
- 第1部 解説編
 - 第一章 少年柔道は柔道指導の原点
 - 第二章 基本動作の指導
 - 第三章 技の指導
 - 第四章 教育の中の柔道
 - 第五章 指導の工夫
 - 第六章 少年規定の変遷と問題点
 - 第七章 柔道の安全指導
 - 第八章 東日本大震災への講道館の対応
 - 第2部 実技編
 - 第九章 少年柔道の未来のために
 - 第一章 礼法の指導
 - 第二章 受け身の指導
 - 第三章 基本動作の指導
 - 第四章 トレーニング法の指導
 - 第五章 柔道の練習法
 - 第六章 投技の指導
 - 第七章 固技の指導

編集・発行 日本武道館
 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
 ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
 日本武道館出版広報課
 までどうぞ！

TEL03(3216)5147
 FAX03(3216)5158

空手1プレミアリーグ

2019東京大会

日本武道館で 日本が金8個獲得

空手1プレミアリーグ2019東京大会（主催：世界空手連盟、主管：全日本空手道連盟）は、9月6日～8日に日本武道館で開催された。

年間7大会が世界各地で行われる空手1プレミアリーグは、今年大会で今年5回目を数え、東京2020オリンピック空手競技の出場選手選考に関わるオリンピックスタンディング（オリンピック選考用ランキング）のポイント対象大会として実施されている（本文中の世界ランク、オリンピックスタンディングは2019年9月3日現在）。また今回は、来年8月6日～8日に日本武道館で実施される東京2020オリンピック空手競技のテストイベントとして行われ、最終日には約8500名の観客が来場し、本番さながらの盛り上がりを見せた。

大会には79の国と地域、681名（うち日本は89の選手とチーム）がエントリーし、日本は参加国・地域の中で最多となる金メダル8個、銀メダル3個、銅メダル8個、計19個を獲得し、空手道発祥国としての意地をみせた。

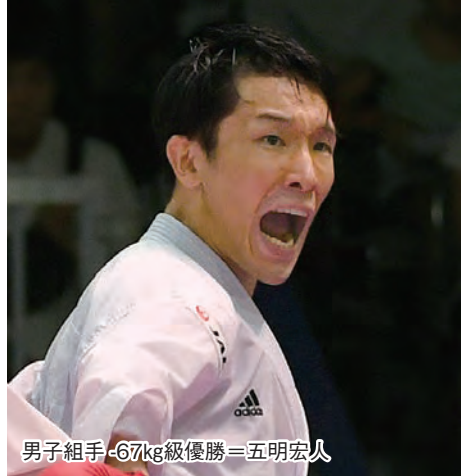




男子組手 -84kg級優勝=荒賀龍太郎



男子組手 -75kg級優勝=西村拳



男子組手 -67kg級優勝=五明宏人



男子個人形優勝=喜友名諒



女子個人形優勝=清水希容



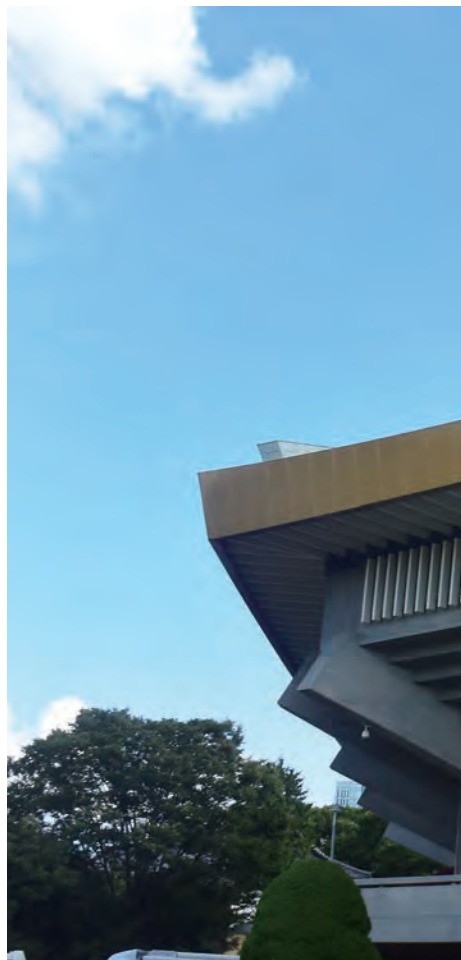
女子組手 +68kg級優勝=植草歩



男子団体形優勝=日本(金城、上村、喜友名)



女子団体形優勝=日本(清水、梅景、小川)



決勝戦＝五明宏人（左）が上段突きで先取



男子組手 -67kg級

決勝戦は、五明宏人^{ごみょうひろと}と世界ランク5位のブラク（トルコ）の顔合わせとなった。五明はオリンピックスタジアムディング62位ながらも躍進し、決勝戦に進出。

試合は、開始15秒で五明が上段突きを決めて1ポイントを先取。対するブラクは取り返そうと積極的に攻めるが、五明が上手く見切る。残り10秒で、五明はブラクの攻撃を読み、カウンターの上段突きで2ポイント目を追加。そのまま終了し、五明が今年初めてプレミアリーグを制覇した。

ごみょうひろと 五明宏人が 今年初のプレミアリーグ制覇

「ブラクには気持ちで負けないことを意識しました。今まで海外での試合が多く、応援の声はあまりないのですが、今日は大きな声援が聞こえて、気持ち良く試合をすることができました。プレミアリーグでは一昨年のドイツ大会、昨年のトルコ大会と、毎年1回しか優勝しておらず、周りからは年に1度の『お祭り男』だといじられていました。決勝進出が決まった時、今年は今日がそのお祭りなんだと思いました。この後の大会も、『お祭り男』と言われないうように、気を引き締めて頑張り、優勝し続けたいです」

◎優勝Ⅱ五明宏人^{ごみょうひろと}



男子組手 -75kg級

決勝戦＝西村拳（右）が上段突きでアガイエフを追い詰める



決勝には、オリンピックスタンディング2位の西村拳が勝ち進んだ。相手は、2008年に日本武道館で行われた世界選手権で70kg級と無差別級当時の階級区分の頂点に立ち、今もなお活躍し続けるアガイエフ（アゼルバイジャン）。試合は膠着した展開から、西村が徐々に手数を増やし、終盤には西村が上段蹴りや上段突きなどで攻め立てる。勝負は判定に持ち込まれ、西村に旗が5本上がり、金メダルが決定した。



にしむらけん 西村拳が 強敵を降して金メダルを獲得

◎優勝Ⅱ西村拳

「アガイエフ選手が日本武道館で世界一になった11年前、私は中学生でした。その時は武道館に足を運んで、その試合を初めて生で見ても、彼の強さに鳥肌が立ちました。今回、そのアガイエフ選手と決勝で戦えることが幸せだと思いました。この階級は実力が拮抗していますが、できれば東京オリンピックでも決勝戦でアガイエフ選手と戦いたいですね。東京オリンピックを来年に控える中、注目度が高まったこの大会で優勝できて、西村拳の名前を国内外にアピールできたのではないかと思います」

男子組手 -84kg級

決勝戦＝荒賀龍太郎（右）が上段突きで2ポイント目を追加



世界ランク5位の荒賀龍太郎あらがりゅうたろうが決勝戦に登場。荒賀は昨年9月にドイツで行われたプレミアリーグで優勝した以来、国際大会の優勝から遠ざかっている。

試合は互いにポイントを取り合い、1-1で迎えた終盤、荒賀が世界ランク2位のザビオラ（イラン）に対して素早い上段突きで2ポイント目を奪う。最後はザビオラに4つ目の反則が入って反則負けとなり、荒賀の1年ぶりとなる国際大会優勝が決まった。

あらがりゅうたろう 荒賀龍太郎が 1年ぶりの国際大会優勝

◎優勝Ⅱ荒賀龍太郎あらがりゅうたろう

「前半は相手に圧されてしまい、どう戦おうか悩みましたが、いくしかないと思って放った2発が有効になって良かったです。ただ、最初から気迫を全面に出していけば、もう少し良い試合になったのではないかと思います。自分のポイントが入った時に歓声が聞こえ、その大きな声援が力になりました。勝ちたいと思っていたこの場所で勝つことができている嬉しいです。今回、勝ち切れたことは自信になりましたが、課題を修正して、10月のモスクワでのプレミアリーグでも優勝できるように頑張ります」



決勝戦＝植草歩（左）が上段突きで攻める



女子組手 +68kg級

オリンピックスタンディング3位の植草歩は、準々決勝で齊藤綾夏との日本人対決を制す。続く準決勝では、昨年の世界選手権決勝で敗れたエレニ（ギリシャ）に、残り12秒でポイントを奪って1-0で勝利し、決勝戦に駒を進めた。

決勝では、植草が開始8秒でクリオ（イタリア）に対して上段突きを先取する。その後も勢いに乗って上段突きで有効を重ね、5-0で完勝。今年7月のアジア選手権では初戦敗退した植草が、不調を乗り越えて金メダルを勝ち取った。

うえくさあゆみ 植草歩が 不調乗り越え、笑顔の優勝

「入場した時から大きな声援が聞かえ、開始早々にポイントが取れたのはそのおかげかなと思います。決勝まで上がった段階で、やっぱりここにいるべきだなと思いました。自分がやってきたことが間違っていたんじゃないかと悩んだ時期もありましたが、間違っていなかったと、この優勝が自分を安心させてくれました。自分の空手を信じ続けることが、自分の強さだと再確認できましたね。アジア大会で負けてから不安でたまりませんでした。そのような不安は勝つことで解消できるものだと思えました」

◎優勝Ⅱ植草歩



男子個人形

き ゆ なり よう 喜友名諒、今大会最高得点で頂点に



決勝戦＝新馬場一世は
チャタンヤラクーサンクーを披露



3位決定戦＝本一将のウンスー



決勝戦＝喜友名諒がオーハンダイで今大会最高得点を叩き出す

今年から形の勝敗は、従来の旗判定から審判員が点数で評価する採点方式に変わった。

男子個人形決勝戦は喜友名諒と新馬場一世による日本人対決。喜友名はオーハンダイ、新馬場はチャタンヤラクーサンクーを演武。結果はプレミアリーグ7連勝中の喜友名が今大会最高得点の28・38点を叩き出し、堂々の優勝を果たした。

3位決定戦は、ウンスーを披露した本一将が勝利した。

◎優勝Ⅱ喜友名諒

「いつもご指導いただいている佐久本嗣男先生がコーチにつけてくれたので、稽古のように落ち着いて試合に臨めました。日本武道館での試合ということで来年のオリンピックをイメージしながら、楽しんで演武できました。一番の目標は東京オリンピックで優勝することですが、まずは出場権を勝ち取らなきゃいけないですね。オリンピックまでは出場するすべての大会で優勝を目指します。まだまだ成長できると思うので、東京オリンピックではレベルアップした自分を見せたいです」

女子個人形

しみずきよう 清水希容が再演武で雪辱を果たす

決勝戦＝再演武となり、清水希容はオヤドマリノパッサイで勝負



決勝戦＝世界ランク1位のサンドラは再演武でスーパーリンバイを選択



3位決定戦＝岩本衣美里のアーナンダイ

「近年の世界選手権決勝戦では、清水希容とサンドラ（スペイン）が対戦し、サンドラが勝利した。その2人が今大会でも決勝戦で相見えた。両者ともにチャタンヤラクーサンクを演武すると、27・68点の全くの同点となる。使用していない形を選択する再演武となり、清水が選んだのはオヤドマリノパッサイ。対するサンドラはスーパーリンバイで勝負。結果は、清水が0・26点上回る27・74点で優勝を決め、昨年の世界選手権での雪辱を果たした。

3位決定戦では岩本衣美里が尾野真歩を下して銅メダルを獲得した。

◎優勝Ⅱ清水希容

「最近ではサンドラと僅差の勝負が多く、いつかは再演武にもつれると予想していました。あれこれ考えずに無心で演武したことが審判に伝わったのだと思います。どんな状況でも力を発揮できる平常心が大切だと実感しました。大好きな日本武道館の舞台で演武することは私にとって特別で、気合いも入ります。その武道館でサンドラと2度も戦えたことは貴重な経験となりました」



優勝=日本 (金城、上村、喜友名)

男子団体形



第3位=日本 (在本、本、本)



準優勝=日本 (笹岡、松元、松元)

日本が男女とも団体形で金・銀・銅を獲得

女子団体形



優勝=日本 (清水、梅景、小川)



第3位=日本 (岩田、泉、花岡)



準優勝=日本 (尾野、城谷、川上)

日本人選手4名が組手で銅メダル獲得



女子組手 -61kg級 3位決定戦＝
染谷真有美（左）が上段突きで6ポイント目を奪う



男子組手 -67kg級 3位決定戦＝
中野壮一郎（右）が上段蹴りで攻める



女子組手 -50kg級 3位決定戦＝
多田野彩香（左）が上段突きで2ポイント目を追加



女子組手 -55kg級 3位決定戦＝
中村しおり（左）が上段突きを狙う

▽男子組手 -67kg 級

3位決定戦は、ともにブラックに敗れた中野壮一郎と小崎友基の対決となり、残り13秒で中野が中段蹴りを決めて逆転し、4―2で勝利した。

▽女子組手 50kg 級

多田野彩香は銅メダルを賭けてく（台湾）と対戦し、多田野が3ポイントを奪って勝利した。

▽女子組手 -55kg 級

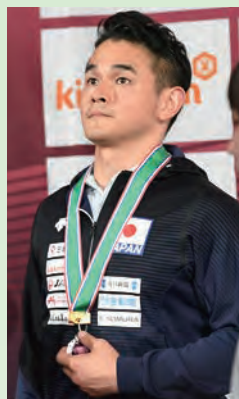
3位決定戦で中村しおりとジェニファー（ルクセンブルク）が対戦。中村が上段突きと中段突きで有効を奪い、2―1で銅メダル獲得。

▽女子組手 -61kg 級

染谷真有美は、準決勝でレイラ（フランス）と対戦。試合は1―1でポイントを先取した染谷の勝利で終了した。しかしフランス側はレイラが終了間際に放った突きが有効と抗議すると、これが認められ、判定が覆って染谷の敗退が決定。

気持ちを切り替えて3位決定戦に臨んだ染谷が、開始から終始攻め続け、6―1で圧勝した。

◎男子個人形準優勝Ⅱ新馬場一世



「緊張もありましたが、日本開催ということで気持ち良く演武できました。今回、久しぶりにプレミアリーグの決勝戦の舞台に立つことができましたが、たくさんの方の応援が聞こえ、空手道が注目されつつあることを実感しました。喜友名選手は切磋琢磨しながら自分を伸ばしてくれている存在なので、とても感謝しています」

▽男子個人形3位Ⅱ本一将



「一番の目標は喜友名選手に勝つことです。また、オリンピックピクスタン

ディングで競っている新馬場選手との戦いにも勝たなくてはなりません。10月のモスクワでのプレミアリーグでも結果を残せるように頑張ります」

▽女子個人形3位Ⅱ岩本衣美里



「緊張しました。オリンピックまで1年を切っているので、1ポイントでも多く稼ぎたいですね。なので、今回はメダルを取ることができて嬉しかったです」

▽男子個人組手-67kg級3位Ⅱ中野壮一朗



「自信を持ってこの大会に臨みました。今までプレミアリーグではメダルマッチまで進んでも負けてしまっていたので、今回の大会は大きな収穫になりました」

▽女子個人組手-50kg級3位Ⅱ多田野彩香



「落ち着いて試合に臨むことができ、出したい技も出せたので、スッキリしています。焦った時に負けることが多いので、今後はそのような癖を修正していきたいです」

▽女子個人組手-55kg級3位Ⅱ中村しおり



「声援を力にして、ポイントを取ることができました。試合の終盤や緊張すると技が雑になってしまうので、10月に行われるモスクワのプレミアリーグまでに改善し、優勝したいです」

▽女子個人組手-61kg級3位Ⅱ染谷真有美



「準決勝の）判定が覆ったことよりも、多くの日本の方々や教えてくれた先生方の前で、リードしている状態で逃げてしまったことが悔しかったです。3位決定戦では準決勝の反省を活かし、リードしていても前に出て行く姿勢を貫きました。準決勝の負けがあったからこそ、3位決定戦での勝利があったのだと思います。東京オリンピックには姉妹で出場して2人で金メダルを目指します（姉は組手-68kg級で世界ランク2位の染谷香予選手）」

日本代表選手・監督・コーチ



アメリカ力代表の國米選手は前向きに東京五輪を目指す

◎女子個人形出場Ⅱ國米櫻選手（アメリカ）

今大会、女子個人形で準決勝に勝ち進んだアメリカ代表の國米櫻選手は、アメリカ国籍ながらも日本人の両親をもち、岡山学芸館高校、同志社大学、早稲田大学大学院に通い、多くの時間を日本で過ごした。オリンピックスタウンディングも5位に付け、東京五輪出場も視野に入れる彼女に話を伺った。



「メダルマッチまで手が届かなかったのは、とても悔しいです。しかし2週間後にはまた試合を控えているので、次に向けて対策を考えていかないといけません。」

日本とアメリカではやはり練習環境で異なる部分がありますね。日本



國米櫻選手（右）と早稲田大学空手部OBの三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長

だと先生方がたくさん指導してくれ
ます。アメリカでは『すごいね』と
言われて終わってしまう。それも嬉
しいことですが、物足りなさも感じ
ています。沖縄で佐久本嗣男先生に
習ったり、卒業した同志社大学や早
稲田大学に行つてレベルの高い環境
で練習することは非常に楽しいで
す。今回の大会でも早稲田の先輩や
大学院の頃の友人たちが応援に来て
くれました。

東京オリンピックに向けて、ま
ずは出場内定を勝ち取るために、こ
からの試合一つ一つを大切にしてい
きます。そして、東京オリンピック
でメダルを取れるように頑張ってい
きます」

大会結果

◆組手	優勝	準優勝	3位
男子-60kg級	Assadilov Darkhan (カザフスタン)	Crescenzo Angelo (イタリア)	Hassanniadeilami Majid (イラン) Samdan Eray (トルコ)
男子-67kg級	五明宏人 (日本)	Uygun Burak (トルコ)	Figueira Vinicius (ブラジル) 中野壮一朗 (日本)
男子-75kg級	西村 拳 (日本)	Aghayev Rafael (アゼルバイジャン)	Asgari Ghoncheh Bahman (イラン) Horuna Stanislav (ウクライナ)
男子-84kg級	荒賀龍太郎 (日本)	Poorshab Zabihollah (イラン)	Mamayev Aykhan (アゼルバイジャン) Kvesic Ivan (クロアチア)
男子+84kg級	Horne Jonathan (ドイツ)	Abazari Saleh (イラン)	Arkania Gogita (ジョージア) Filali Mehdi (フランス)
女子-50kg級	Bahmanyar Sara (イラン)	Recchia Alexandra (フランス)	多田野彩香 (日本) Li Ranran (中国)
女子-55kg級	Terliuga Anzhelika (ウクライナ)	Wen Tzu-Yun (台湾)	中村しおり (日本) Fernandez Osorio Carlota (スペイン)
女子-61kg級	Lotfy Giana (エジプト)	Heurtault Leila (フランス)	Yin Xiaoyan (中国) 染谷真有美 (日本)
女子-68kg級	Zaretska Irina (アゼルバイジャン)	Agier Alizee (フランス)	Buchinger Alisa (オーストリア) Gong Li (中国)
女子+68kg級	植草 歩 (日本)	Ferracuti Clio (イタリア)	Chatziliadou Eleni (ギリシャ) Keinanen Titta (フィンランド)

◆形	優勝	準優勝	3位
男子個人形	喜友名諒 (日本)	新馬場一世 (日本)	Quintero Capdevila Damian Hugo (スペイン) 本 一将 (日本)
女子個人形	清水希容 (日本)	Sanchez Jaime Sandra (スペイン)	岩本衣美里 (日本) Bottaro Viviana (イタリア)
男子団体形	日本 (金城、上村、喜友名)	日本 (笹岡、松元、松元)	トルコ 日本 (在本、本、本)
女子団体形	日本 (清水、梅景、小川)	日本 (尾野、城谷、川上)	日本 (岩田、泉、花岡) ベトナム

日本武道館の単行本

空手評論家
金城

裕
(きんじょう ひろし) 著

唐手から空手へ

題字 松永光日本武道館会長



(四六判・上製・四五四頁)

今の空手は、その源流である唐手からての精神と伝統の技を忘れて成長してしまった。空手の将来に豊かな展望を持つためにも、唐手誕生の歴史を正しく認識する必要がある。

空手修業歴八十年。生涯を空手に捧げてきた著者が史料を繙きながら、唐手が誕生し、空手となった過程を辿る。武道研究者必携の一書。

〈目次〉

- 第一章 「唐手」とは、の問いに答える
- 第二章 中国拳法を巡って
- 第三章 琉球と中国の関係史
- 第四章 松村宗昆、「手」に息吹きを与える
- 第五章 首里手から唐手へ
- 第六章 「唐手」から「空手」へ
- 終章 空手の進むべき道

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本

日本の武道

日本武道館 編



一千数百年の歴史を有する武道の全容を一冊に集大成。武道小百科事典としても役立つ充実の巻末資料など、武道関係者必携の書。

(B5判・上製・箱入・526頁)

我が空手人生

金澤弘和 著



国際松濤館空手道連盟館長 金澤弘和 著
父母の教え、「からて」との出合い、厳しい修行、組織の結成、そして独自の空手理論構築まで、世界に空手を普及した男の記録。

(四六判・上製・372頁)

脳を活性化する

武道とセロトニン

東邦大学名誉教授

有田秀穂 著



人間の心身を安定させるセロトニン——。その研究の第一人者が、誰もがができる脳を活性化させる方法をわかりやすく解説。

(A5判・並製・346頁)

BUDO: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編



武道のすべてを網羅した『日本の武道』の英語版。海外武道修業者におすすめの書。

(B5判・上製・336頁・DVD付)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう 著



漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著
武道の良さ、すばらしさを、わかりやすく描く。大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。空手道は5話を掲載。

(B5判・並製・236頁)

大先輩に聞く

田谷将俊 著

月刊「武道」記者



各武道の先達三十名に直接取材。武道との出会いから修行時代、そして現在を語る。空手道では江里口栄一、辻川禎親、金城裕の3氏を収録。

(四六判・上製・376頁)

武道デモンストレーション BUDO DEMONSTRATION

～武道の精華を世界に発信～

BUDO
DEMONSTRATION

BUDO
DEMONSTRATION

日本武道8種目の武道デモンストレーションが東京五輪のテストイベントである2019世界柔道選手権東京大会と空手1プレミアリーグ2019東京大会で行われた。世界柔道選手権では8月26日に弓道、28日に合気道、30日になぎなたと銃剣道、31日に相撲と空手道、9月1日に少林寺拳法と剣道が、空手1プレミアリーグでは9月8日に合気道となぎなたがそれぞれ披露された。

1964年のオリンピック東京大会の柔道競技では、弓道、相撲、剣道（演武順）のデモンストレーションが行われたことにちなんだもので、日本武道協議会が主体となって実施された。

各演武では、多くの海外メディアや観覧者がシャッターを切り、万雷の拍手に包まれた。2020年東京五輪では全世界に更なる武道の魅力発信を目指す。





なぎなた



合気道



相撲



剣道



銃剣道



少林寺拳法



空手道



弓道

Kyudo 弓道



合気道 Aikido



2019世界柔道選手権東京大会

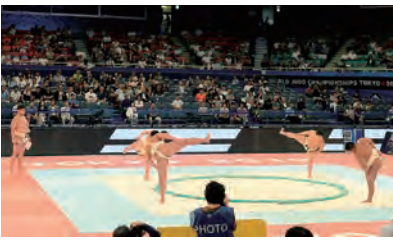
なぎなた Naginata



銃剣道 Jukendo



Sumo 相撲



空手道 Karatedo



少林寺拳法 Shorinji Kempo

Kendo 剣道



Aikido 合気道



空手1プレミアリーグ2019東京大会

武道デモンストレーション演武者一覧 (演武順)

2019 世界柔道選手権東京大会

【弓道】

石川武夫範士九段、久保田清範士八段

【合気道】

入江嘉信七段、桂田英路六段、鈴木俊雄六段、日野皓正五段、鈴木昂平三段、桑原将太三段

【なぎなた】

吉井和代教士、照井順子錬士、和田うらら五段、中島沙織四段、北希織三段、中島理沙三段、金野夏月三段、永尾日向子三段

【銃剣道】

小倉弘之教士七段、佐藤岳錬士六段、小林継人錬士六段、竹内巨輝錬士六段

【相撲】

黒川宏次朗四段、勝呂歩紀三段、勝呂隆稀三段、山市大悟三段、井田翔太初段

【空手道】

在本幸司三段、本一将三段、本龍二三段

【少林寺拳法】

川島佑斗正拳士五段、堀井颯馬正拳士四段、志村力准範士七段、荒井章士准範士七段、上原茉奈三段、望月風歌三段、真野礼華三段、齊藤桃子二段、大浪詩乃一級、伊藤彩華二段

【剣道】

竹ノ内佑也五段、村松洋輔五段、加納彰大四段、白鳥湧也四段、星子啓太四段、松崎賢士郎四段



空手1プレミアリーグ 2019 東京大会

【合気道】

栗林孝典七段、鈴木俊雄六段、小山雄二五段、梅津翔五段、鈴木昂平三段、桑原将太三段

【なぎなた】

紫関譲子教士、吉井和代教士、中島沙織四段、北希織三段、中島理沙三段、金野夏月三段、永尾日向子三段



なぎなた
Naginata



好評発売中

藤堂良明 (とうどう よしあき) 著
(筑波大学名誉教授)

学校武道の歴史を辿る

四六判・上製・354頁・本体2400円＋税

江戸時代の藩学教育に遡る学校武道の歴史。明治維新を迎え武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度のなかに組み込まれ発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え「格技」として復活、平成20年には「中学校武道必修化」が実現した。

学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。



著者略歴

藤堂良明 (とうどう よしあき)

1949年(昭和24)、埼玉県生まれ。東京教育大学体育学研究所修士課程修了。筑波大学教授(体育科学系)、同大学体育専門学群副学群長、同大学附属中学校長、全国国立大学附属学校連盟会長、日本教育大学協会副会長、日本武道学会理事、全日本柔道連盟教育普及委員会委員などを歴任。

現在、筑波大学名誉教授。博士(学術)。柔道七段。埼玉県柔道連盟副理事長。日本古武道協会常任理事。

目次

- 第1部 江戸時代の学校武道
 - 第1章 藩学の創設と文武学習
 - 第2章 藩学における教育目標
 - 第3章 藩学における武芸教育
- 第2部 明治時代の学校武道
 - 第4章 武芸の衰退と学校教育制度の確立
 - 第5章 学校武術採用に関する体操伝習所の答申
 - 第6章 山岡鉄舟と嘉納治五郎
 - 第7章 嘉納治五郎の学校柔道普及戦略
 - 第8章 明治期の学校における武術の普及状況
 - 第9章 武術の正課採用への歩み
- 第3部 大正時代の学校武道
 - 第10章 文部省主催武術講習会の目的と内容
 - 第11章 学校体操教授要目の制定と内容
 - 第12章 「学校体操教授要目」制定後の体育界の動向
 - 第13章 大日本武徳会の設立と影響
 - 第14章 学生武道の隆盛
 - 第15章 改正学校体操教授要目の制定と内容
- 第4部 昭和20年以前の学校武道
 - 第16章 精力善用国民体育と学校武道
 - 第17章 柔・剣道が正課必修に
 - 第18章 戦前の学生武道大会の発展
 - 第19章 国民学校体錬科の登場
 - 第20章 第二次大戦中の体錬科武道
- 第5部 戦後の学校武道
 - 第21章 戦後の学校武道の禁止と復活
 - 第22章 「格技」の誕生
 - 第23章 格技から武道へ
 - 第24章 中学校武道必修化の実現
 - 第25章 これからの学校武道のあり方

発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

好評発売中

合気道九段 多田 宏 著

合気道に活きる

四六判・上製・402頁・本体2400円＋税

昭和初期に生れ、戦後の早大生時代に植芝盛平、植芝吉祥丸、船越義珍、中村天風、日野正一の諸先生の教えを受け、合気道の稽古を生涯の道と志す。

昭和から平成への激動の時代に、本部道場師範を務め、各大学に合気会を創設、自らの道場も主宰し、さらに欧州各国への普及に尽力。合気道に活きた泰斗の軌跡を余すところなく示す珠玉の一冊。



多田 宏 (ただひろし)

昭和4年(1929)12月14日生。東京都出身。早稲田大学第一法学部在学中の昭和25年、植芝道場入門、合気道始める。植芝盛平先生、吉祥丸先生に師事。同年、天風会入会、中村天風先生に師事。同年、一九会道場入会、日野正一先生に師事。昭和27年早稲田大学卒業。合気道の稽古と日本武道の歴史研究を専門とする道に進む。合気道本部師範・防衛庁師範を務め、慶應義塾・学習院、早稲田の各大学合気道会設立に尽力、師範となる。昭和39年渡欧し、欧州各国での合気道普及に尽力。イタリヤ合気会を創設。
現在、合気会本部師範、早稲田大学合気道会名誉師範、東京大学合気道気錬会名誉師範、イタリヤ合気会主任教授、国際合気道連盟委員など。また、合気道多田塾を主宰。合気道九段。

目次

第一章 生い立ち

- 一 原点
- 二 幼稚園から小学校時代
- 三 第一東京市立中学校

第二章 師との出会い

- 一 松濤 船越義珍先生
- 二 植芝盛平先生・吉祥丸先生
- 三 中村天風先生
- 四 鉄叟日野正一先生・みち系先生

第三章 生き方の方針

- 一 植芝道場 先輩の教え
- 二 命の基を訪ねて
- 三 一生の方針を定める

第四章 植芝盛平先生の教えと稽古

- 一 気の錬磨
- 二 合気道の心
- 三 心学の道、心法の道
- 四 稽古と法
- 五 稽古の目的、人の生き方
- 六 「機」について
- 七 錬る
- 八 自然な動き
- 九 場を主宰する

第五章 合気道の普及

- 一 合気道の発展
- 二 「気の流れ」の錬磨
- 三 ヨーロッパの合気道
- 四 合気道の国際的普及
- 五 気の流れと縁

第六章 呼吸法(調気の法)

終章 稽古を顧みる

発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



東京五輪に向けた空手テストイベントを開催



世界柔道選手権を終えて



表彰式のテストの様子



真剣な表情で挑む選手たち



入場も念入りに確認を行った

2020 東京オリンピックに向けた 空手テストイベントを開催

READY STEADY TOKYO —空手

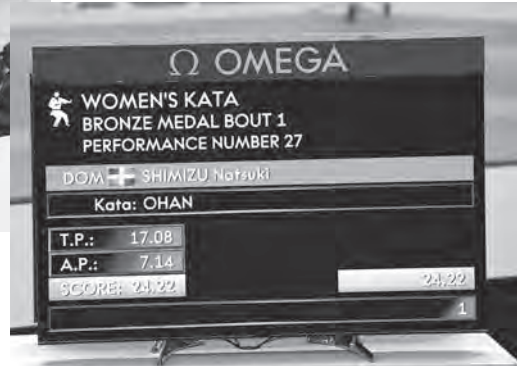
空手1プレミアリーグ東京大会2019が行われた翌日の9月9日、「READY STEADY TOKYO—空手」が同じ日本武道館で開催され、17時より報道関係者を対象として公開された。「READY STEADY TOKYO」は東京2020組織委員会主催のもと、競技運営や大会運営の能力を高めることを目的として開催されるテストイベントであり、2020大会までには全部で25回の実施を予定している。

◆
本イベントは前日に台風が直撃した中での開催となったため、開始時間を10時から13時に繰り下げての開催となった。報道関係者に向けては個人男子組手と個人形男女の試合、さらに個人形の表彰式の模様が公開された。

なお、本イベントは競技フォーマットの確認や運営のテストに重点を置いている。選手たちは全員日本の大学空手道部からの参加であるが、ゼッケンの国名がさまざまな国のものになっており、世界中から選手が集まるオリンピックが想定されて実施された。



◀ 競技を採点する審判員




▶ 形のスコアボード：技術点（T.P.）と競技点（A.P.）に分かれ、合計点がスコアとなっている

さらに、無観客で開催されたということもあり、オリンピック大会関係者が見守り、会場の空気は緊張感が漂う中、綿密に動きの確認が行われた。

◎ 個人形競技のテスト

形競技はオリンピックに向けて2点の大きな変更点があった。1つは審判員の人数である。昨年までは5名の審判員が試合場で判定していたのに対し、本年から7名になり、全員が試合場の正面から演武を審査するようにになった。もう一つは勝敗の判定である。以前は旗判定を使用していたが、今年から採点制が導入されるようになった。審判員は呼吸法や技の出来映え等を評価する「テクニカル・パフォーマンス（技術点T.P.、合計得点のうち70%を占める）」と、力強さやスピード等を評価する「アシレチック・パフォーマンス（競技点A.P.、合計得点のうち30%を占める）」の観点で採点する。

イベントでは、組手から形へ移行する時のマット変更の確認が行われた。大会本番を意識し、迅速に対応する様子が見られた。演武開始後は



マンガ・武道の偉人たち

マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体 1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎（柔道）、高野佐三郎（剣道）、阿波研造（弓道）、
双葉山（相撲）、船越義珍（空手道）、植芝盛平（合気道）、宗道臣（少林寺拳法）、
園部秀雄と三田村千代（なぎなた）、鶴沢尚信（銃剣道）

ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!



テストとはいえ試合本番さながらの迫力



負傷者の対応についても念入りにテストが行われた

プレミアリーグとオリンピックで組手階級が異なる

組手においては、プレミアリーグをはじめとしたWKF公式国際大会と、オリンピックでの階級区分が異なります。

男子組手		女子組手	
WKF階級	オリンピック階級	WKF階級	オリンピック階級
-60kg級	統合 → -67kg級 10名	-50kg級	統合 → -55kg級 10名
-67kg級		-55kg級	
-75kg級	→ -75kg級 10名	-61kg級	→ -61kg級 10名
-84kg級	統合 → +75kg級 10名	-68kg級	統合 → +61kg級 10名
+84kg級		+68kg級	

(空手1 プレミアリーグ東京大会プログラムより抜粋)



多くの報道陣も集まった



イベントは無観客状態で開催された。(《個人形》)

演武者も審判も本番の大会同様の緊張感を持って進められた。さらにスコアボードの表示や審判員の立ち位置の確認なども重要視してテストされた。形競技終了後は表彰式のテストの様子も公開された。

◎個人組手競技のテスト

個人組手は、オリンピックと世界空手連盟(WKF)主催大会とは階級が異なる。WKF主催大会では男女ともに5階級だったが、オリンピックでは上下2階級ずつを統合(例↓男子+84kg級と-84kg級が+75kg級に統合)した3階級ずつで争われる。また、出場可能年齢は18歳以上とされている。

組手競技のテストイベントは運営テスト(入退場やスコアボードの調整等)以外にも対人競技特有である競技者の負傷に対する処置の対応面についても重点を置いてテストが行われた。

さらに審判の判断による点数制競技のため、主審の動作確認を行ったリ、ビデオレビューにおける技の確認方法を検討するなど競技を円滑にするための方法が検証されていた。

大会関係者インタビュー

◎森泰夫東京2020組織委員会
大会運営局次長



「今回のテストイベントは空手がオリンピック初回の競技という

こともあり、基本的にはスポーツ競技運営の部分に重点を置きながら開催いたしました。FOP (Field of Play = 試合場) の部分はIF (国際競技連盟) からの要請により色彩の件も含め、基本的にこの形で進めていくことになりました。リザルトシステム、ビデオ判定システム、スコアボード等の表示について一定の評価を得ることができました。

また、選手の負傷時の対応については計11名の救急救命士を配置しました。今後はどのような負傷が起こりうるか、検証を積み重ねていきたいと思えます。

さらに今回は前日に台風の直撃があったため、大会の開催時間を10時から13時に変更し、3カテゴリー開催する予定を2カテゴリーに減らして大会を行いました。台風の直撃はオリンピック本番においても起こりうる事象でありますので、今回の改善点等を踏まえながら来年の本番の運用計画に生かしていきたいと思えます」

◎奈藏稔久世界空手連盟事務総長



「日本武道館で大会を開催するということはとても有意義な

ことであると感じております。来年は第1回世界選手権大会が行われることからちょうど50年になります。その節目にオリンピック競技として日本武道館に戻ってくることでできることは我々にとつてこの上ない喜びです。今年は1年前なので、空手1プレミアリーグ東京大会も日本武道館で行いたいと切に願っております。昨日実現でき、非常に嬉しく思っております。また、本日開催されたテストイベントについて、改めて今までの大会の運営

方法と異なっていること、オリンピックが選ばれた人間だけが戦うことのできる場であることを実感いたしました。

最後に、オリンピックは組手競技だけでなく、形競技も行われます。当初、形は競技にそぐわないのではないかという意見もありましたが、我々は形と組手が両方揃ってこそ空手道だと考えております。組手は空手道独特の技を使った対人競技です。形は空手道の伝統を色濃く残しています。どちらかのみを推進していくのではなく、両方を一緒に進める、これがオリンピックで形と組手を行う意義であり、本来の空手道であると考えています」

好評発売中

金城 裕 著

唐手から空手へ

四六判・上製・四五四頁

今の空手はその源流である唐手の精神と伝統の技を忘れて成長してしまった。空手の将来に豊かな展望を持つためにも、唐手誕生の歴史を正しく認識する必要がある。

空手修業歴八十年。生涯を空手に捧げてきた著者が史料を繙きながら、唐手が誕生し、空手となった過程を辿る。武道研究者必携の一書。

◎ご注文・お問い合わせ◎

日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp>

日本武道館の単行本

漫画家・別府大学教授
田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ

(B5判・236頁)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ! 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)／小笠原清忠(馬術)

日本武道館の歴史

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



武道

子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



大先輩に聞く

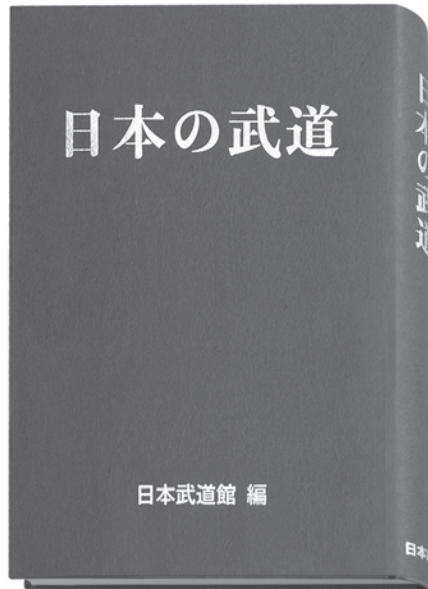
月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法などさまざまな銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書



日本武道館 編

2019世界柔道選手権東京大会を終えて



日本は、今大会、個人戦で金4個、銀6個、銅5個と、東京オリンピックから正式種目となる男女混合団体戦での金1個を合わせ、計16個のメダルを獲得した。

金メダルの数だけ見れば昨年のバクー大会には及ばなかった。しかし、銀メダルが6個ということは決勝戦に進出した選手が合計10名いることになる。紙一重の勝負の中で選手は何を感じ、何を思っただろうか。

選手の練習会場として新設され、初めて供用された日本武道館の中道場を含め、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のテストイベントとして実施された今回の「2019世界柔道選手権東京大会」は選手や運営スタッフなど関係者の目にはどのように映ったか。

関係者のコメントと合わせて振り返ってみたい。

山下泰裕 全日本柔道連盟会長

9月1日、大会最終日に記者に囲まれ取材を受けた山下泰裕全日本柔道連盟会長が次のように述べた。

「(個人戦の)金メダル4個、銀メダル6個、銅メダル5個は立派です。決勝戦では、競った勝負を落とした選手もいれば、相手が一枚上手だった試合もあります。来年のオリンピックに向け、課題が見えたように思えます。

試合そのものにも変化が現れてきました。ルール改正で、2年前の世界選手権から一本勝が増えていきます。指導の差などで勝つのではなく、選手自身が、投げて勝つまたは抑え込むなどして勝つことを考えるようになったことが要因だと思えます。徐々に本来の柔道の姿に戻ってきたと思えます。

足が取れなくなったことで柔道の幅が狭くなったと言われる方もいらっしゃいますが、柔道未経験者でも

見ていて楽しめる柔道を目指し、ビゼール会長を中心にルール改正等を進めております。

運営面につきましては、テストイベントとして開催したところ、現場の色々なスタッフに聞いて回りましたが、全体的に好評でした。ただ、一点だけウォーミングアップエリアの利用方法については課題が出ました。当日試合のある選手だけの利用と限定していましたが、それ以外の選手が利用したり、荷物を置いていたことが混雑の原因になってしまいました。しかし、オリンピックでは選手数が今回の半数程度になるので問題は解決できると踏んでいます。

また、360度カメラの導入等で素晴らしいブロードキャスト技術だと評価を受けました。

自国開催での盛り上がりについて、観客動員は課題が残りました。柔道関係者以外の方にも、特に未経験者の方には、会場に足を運んでもらえるようにもつと知恵を出し合い、取り組んでいきたいと思えます」

日本代表選手コメント

◎金メダリスト



女子 52kg 級
阿部 詩選手

「東京開催の世界選手権で優勝できて嬉しいです。決勝の前に一本で決めようと思っていたので私らしさを全開に出せた柔道ができてよかったです。

去年と違う不安とプレッシャーの中での試合となりました。兄と2人で金メダルを目指していたので残念な気持ちもあります。

一年前より力負けすることがなく自分の成長を感じました。

2連覇をすることができましたが、もっともつと強くなって完璧な阿部詩を作り上げて東京オリンピックに臨みたいと思います。また、兄と2人で金メダルを目指します」



男子 66kg 級
丸山城志郎選手

「阿部選手との準決勝では、試合序盤で左手が攣り、右膝も負傷していました。勝ちたいという気持ちだけで戦ったことは、自分自身が成長できたのだと思います。

準決勝が終わってから気持ちを切り替えて決勝戦に臨みました。決勝戦は大きな声援の中で試合ができ、優勝することで恩返しができたと思います。

オリンピックでの金メダルが最大の目標ですが、今回の勝ちからは非常に大きいと思います。これからは目の前の大会一つ一つを勝つことが重要になります。もつと強い丸山城志郎を見せるため、まずは11月のグランプリを勝ち切ります」



男子 73kg 級
大野将平選手

「今日は優勝するだろうと思って試合に臨んでいたのに特に驚いてはいません。オルジョフ選手とはジュニア時代から切磋琢磨してきました。今回は自国開催の世界選手権ということもあり、『大野は勝つだろう』という期待を感じていました。しかし、そのプレッシャーをうまく力に変えることができました。

4年ぶりの世界選手権でしたが、いつも通りの準備をして試合に臨みました。世界選手権3度目の優勝は嬉しいですが、73kg級の戦いは道半ばなので、今は何も達成していないし、満足もしていません。

東京オリンピックで2連覇を目指すことについては、周りの声ほど簡単なことではないことは自分自身が一番理解しています。気持ちを引き締め直して、来年もう一度日本武道館に戻ってきたいです」



女子 78kg 超級
素根 輝選手

「優勝を目指していた大会なので嬉しいですね。日本開催の試合ということで皆さんの声援が力になりました。厳しい戦いばかりでしたが、結果を残せてよかったです。

決勝の相手のオルティス選手は、強い選手であることはわかっていました。何が何でも勝つという気持ちで臨みました。相手のペースにならないように自分のペースで試合することを心がけました。

阿部詩選手からの応援もあり、一緒に優勝できたことはよかったです。阿部選手は同学年ということで、普段から仲が良く、お互いを高め合える存在です。

来年の目標はオリンピックで金メダルを獲得することですが、一つ一つの大会を勝ち、まずは代表に選ばれるように頑張っていきたいです」

■団体 金



男女混合団体戦
男子 90kg 級
村尾三四郎選手

「今回は団体選手ということで、全勝してアピールすることを目標にやってきましたが、決勝では負けてしまいました。自分が勝って優勝を決めたかったのですが、相手の選手が一枚上手だったと思います。

悔しい気持ちもありますが、チームとして優勝できたことは嬉しいですね」

○銀メダリスト



女子 48kg 級
渡名喜風南選手

「一年前と比べて、力の差はそこまであるとは思いませんでした。自分の気持ちのコントロールができていなかったのが敗因だと思っています。残り1分までは落ち着いて相手を見ることができました。」

技を奪われたのは自分のミスです。相手を押し出そうとして無理やり前に出てしまったことでリーチの差を生かされて投げられてしまいました。相手の引手は徹底して対処できていたと思います。相手に隙を見せずに勝てるようにしたいです」



女子 57kg 級
芳田 司選手

「優勝するつもりでいたので悔しいです。世界選手権の場で、いつも応援してくれる職場の方やチームの仲間の声がこんなに近くで聞こえるというのは力になりました。試合の最中に何度も助けられました。

来年は今回以上に注目を集める大会になると思いますので、4年間の思いを一戦一戦出し切れるように、準備をしていきたいです」



女子 63kg 級
田代未来選手

「アグベニユ選手という存在が自分

を成長させてくれていきます。しかし、超えなければない壁だとも思っています。たくさん応援があり、最後まで戦い抜くことができませんでした。僅差の勝負だったと言われましたが、その差を来年までにどうしたら良いか考えます。これからしっかりと練習していきたいです」



男子 90kg 級
向翔一郎選手

「すごく疲れました。東京オリンピックでは決勝で負けた選手に勝ちたいです」



女子 78kg 級
濱田尚里選手

「たくさん応援の声が聞こえて日本武道館で試合ができて幸せでした。ここで優勝して恩返しをしたかったので、悔しいです。

来年、東京オリンピックに出場できるように一つ一つの大会で結果を残して代表になりたいと思います」



男子 100kg 超級
原沢久喜選手

「リネール選手がいらない中で金メダルを目指していたので悔しいです。日本武道館で試合ができたことについては、オリンピックと同じ会場というところで、来年のオリンピックを想定した戦いできたと思います。

一つの山は準決勝だと思っていたので、乗り越えたことで、あとは勢いに乗って本能に任せて戦おうと思いました。本日たくさんの方の応援が聞こえて鳥肌が立つような歓声をもらい、すごく力をもらいました。

結果が銀メダルは悔しいです。しかし本番は来年だと思っています。良い準備をして、来年、金メダルを獲得したいです」



▽銅メダリスト



男子 60kg 超級
永山 竜樹選手

「準決勝は相手がガンガンきたので、気持ちで負けてしまいました。」

3位決定戦には気持ちを切り替えられないまま臨んでしまい、ポイントをリードされました。諦めかけましたが、最後は気合で無理やりもっていきました。

世界一になれなかったということは、まだまだということです。練習も実力も足りない。

銅メダルはギリギリ次につながったと思います。グラウンドスラム大阪で勝てるように進化していきたいと思っています」



女子 52kg 級
志々 目愛選手

「オリンピックへ繋がる大会だったので、やっぱり悔しいです。」

準々決勝のケルメンディ戦では、序盤から指導をあたえペースを握ることができました。試合後半で相手の動きが変わってきた時に対応できず、相手の攻めを受けてしまい、自分の攻めが遅くなってしまうことが敗因です。

監督と話をしてメダルを持って帰ると帰らないでは全く違うと言われ、3位決定戦には気持ちを切り替えて臨むことができました」



男子 66kg 級
阿部 一二三選手

「兄妹で優勝できなくて兄として情けない気持ちです。」

準決勝では、延長に入ってから（丸山選手の）巴投を警戒していましたが、前に出た時にちょうどタイミングがあってしまいました。

自分の柔道を出し切るだけだと思っていました。目の怪我についてはバッテリーングしただけです。自分の柔道ができていたので、負けたのは目の怪我のせいではありません。気持ちを切らさずに3位決定戦の

臨みました。勝つことができよかったです」



男子 100kg 級
ウルフ アロン選手

「日本開催の世界選手権は、友人が近くで応援してくれていたもので、しっかり勝たなくてはという思いが強かったです。」

優勝を目指していたので、率直に悔しいです。この負けを来年のオリンピックに繋げていきたいです」



女子 78kg 超級
朝比奈 沙羅選手

「地元東京開催で金メダルを目指していましたが、結果は銅メダルで悔しいです。東京オリンピックに向けて技術を磨き、次の大会を頑張ります。」

家族や友人が会場に来ていてたくさん応援してくれたことが、非常に力になりました」

予選ラウンド敗退



女子 70kg 級
新井 千鶴選手

「組んで勝負してくれる人はいないことは試合前からわかっています。色々なことを想定して稽古を積んできました。それを信じて出すだけと畳に上がりましたが、受けと戦略の甘さがあったから負けたのかなと思います」



男子 81kg 級
藤原 崇太郎選手

「相手の選手の力がすごく強くて圧を感じました。試合終盤に相手の得意な接近戦で勝負をかけてしまったことが敗因です。」

来年のオリンピックは、今のままでは優勝できないと思います。この悔しさをバネにしっかりと自分のやるべきことをやって次に向けて頑張るしかないです」

大会ハイライト

大会期間中の主な来館者

寛仁親王妃信子殿下（全日程）
 安倍晋三内閣総理大臣（9月1日）
 柴山昌彦文部科学大臣（9月1日）
 原田義昭環境大臣（9月1日）
 鈴木大地スポーツ庁長官
 （8月25日・9月1日）
 森喜朗東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長
 （9月1日）
 小池百合子東京都知事（9月1日）
 （役職は来館当時のもの）



抽選会が行われた東京ドームホテルには大勢の関係者が集まった（8月24日）



なぎなた武道デモンストレーション（8月30日）



長蛇の列ができたアイスクリーム屋さん（8月29日）

ロンドン五輪柔道女子57kg級金メダリスト
松本薫のアイスクリーム屋さん

大会期間中、第3駐車場にはひときり長蛇の列を作る売店を見つけた。ロンドン五輪金メダリストの松本薫さんのアイスクリーム屋だ。

今年2月7日に「アイスクリームを作ります」発言で引退会見を沸かせてから約半年。笑顔で店頭立つ松本さんに直撃インタビューをした。「売上は上々です。特に2日目は、たくさんの方が来店してくれました」と嬉しそうに話す。

今の日本代表の印象を聞くと「日本代表選手は非常に強くなっていますね。刺激を受けているようだったので、もう一度畳に上がる可能性について聞くと「ない！ ないです」ときっぱり。松本さんは続けて「選手はこれから東京オリンピックに向け、厳しい選考会が待っていると思いますが、自分を信じて頑張りたいです」とエールを送った。

店には過去の対戦相手や海外チームのコーチ陣など多くの関係者も足を運んだという。

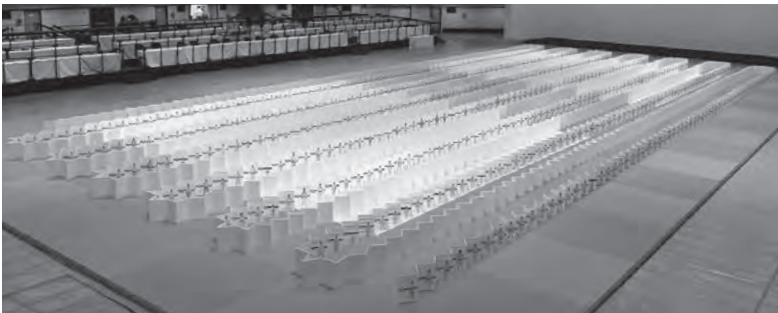
取材した29日が店頭立つ最終日で「明日から幼稚園の送迎があるので」と野獣と呼ばれた頃とは違い、すっかり母親の顔になっていた。



中道場を視察に訪れた
小池百合子都知事（9月1日）



大会最終日表彰式に出席したプレゼンター（9月1日）
〔左から森喜朗組織委員会、マリオス・ビゼールIJF会長、安倍晋三首相、
山下泰裕全柔連会長、上村春樹講道館長、小池百合子都知事〕



日本武道館大道場に並べられたギネス認定ポスター（8月21日）
〔今回の「JUDO IPPON PROJECT」では世代と国境を越え、世界中から6500名を
超える写真の応募があり、その中から2019名の写真を繋げてギネス記録を樹立した〕



ギネス認定証を受け取る
山下泰裕全柔連会長（左）〔8月21日〕

●通訳を担当して
ドーラン実萌さん

「所属会社からの派遣でしたが、
私自身が柔道を好きで、柔道初段
を持っていたことがきっかけでお
手伝いさせていただきました。
若いメダリストがとても嬉しそ
うにしているところや、結果が伴
わず硬い表情の選手もいる中で、
残念な気持ちを表現することが大
変でした。その日によって色々な
選手の表情を見ることができまし
た。大変な仕事でしたが、とても
楽しい一週間でした」



こどもの形（8月29日）



通訳を担当したドーラン実萌さん（右）と
報道受付・記者会見を担当した梶浦泰子さん

◇世界柔道を実況付きで観戦◇

大会期間中は会場となる日本武道館内限定で、
解説付きで試合観戦できるスマートフォン向け無
料音声実況配信サービス「Plat Cast（開発：（株）
アイ・オー・データ）」が紹介された。

会場での観戦は臨場感を味わうことができる
が、テレビ中継のような解説がなく、柔道未経験
者ではルールがわからない場面も。日替わりで解
説者に元日本代表選手の小野卓志氏や西田優香
氏、中村美里氏など豪華な顔ぶれで、選手の特徴
や戦局から見た試合展望、さらには選手の裏話な
ど盛りだくさんの内容で配信された。

盛会だった日本武道館での世界柔道選手権大会

公益財団法人日本武道館
常任理事・事務局長 三藤 芳生

日本武道館では、山下泰裕全日本柔道連盟会長と中里壮也同専務理事に対し、2019年世界柔道選手権東京大会の成功に向け、会場準備について全面的な支援、協力を約束しました。

大会は延べ8日間の長丁場でしたが、日本武道館は、連日、好試合に沸きました。

大会期間中、会場周辺の九段下界隈は、世界中から集まった外国人で賑わっており、柔道の国際的な拡がりを感じました。

大会は白熱した好試合の連続で、日本選手団は柔道の真髄を見事に発揮され、大会のテーマである「一本」の真剣勝負を繰り広げ、国民の期待に応えてくれました。大会の成功を心より喜び申し上げます。

今大会に備え、日本武道館では時計塔の奥に400畳敷の中道場を新設いたしました。練習会場として選手の

方々に好評で、会場側として、大会が盛会裡に実施できたことに安堵しています。

大会期間中、全日本柔道連盟の協力により、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道の武道8種目の演武披露を行いました。特に、海外プレスのカメララッシュがすごく、日本を代表する各道の模範演武に会場は盛り上がりました。武道各道の模範演武は、来年の東京オリンピック大会本番でも実施の予定で準備が進められています。

日本武道館では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、大会の成功と、日本武道館のレガシー化、共生社会にふさわしいバリアフリー化の三つの目標を掲げて会場準備に取り組んでまいりました。柔道と空手道のオリンピック競技、また柔道のパラリンピ

ック競技開催が日本武道館で予定されており、大会本番まで1年を切る段階に入りました。

日本武道館では、国、オリンピック組織委員会、全日本柔道連盟、全日本空手道連盟、障害者連絡協議会と一致協力し、大会の成功に向けて努めてまいりますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、報告といたします。



新設された中道場で選手はウォーミングアップを行った

数字で見る 2019 世界柔道選手権東京大会

(主催者発表及び本誌記者調べ)

【観客動員数 総数 27,305 名】

8月25日(日)	3,675名	[女子48kg級・男子60kg級]
8月26日(月)	5,293名	[女子52kg級・男子66kg級]
8月27日(火)	3,471名	[女子57kg級・男子73kg級]
8月28日(水)	2,168名	[女子63kg級・男子81kg級]
8月29日(木)	2,140名	[女子70kg級・男子90kg級]
8月30日(金)	2,144名	[女子78kg級・男子100kg級]
8月31日(土)	3,605名	[女子78kg超級・男子100kg超級]
9月1日(日)	4,809名	[男女混合団体戦]

※〔 〕内は開催種目

【AD配布枚数 総数 5,000 枚】

選手団、IJF関係者	2,000枚
全日本柔道連盟役員招待者	500枚
東京オリンピック組織委員会	150枚
フジテレビ関係者	600枚
報道関係者	500枚
設営・音響業者関係	750枚
売店・ケータリング関係者	150枚
学生等係員	350枚
【警備・案内係】	各日約250名配置

好評発売中

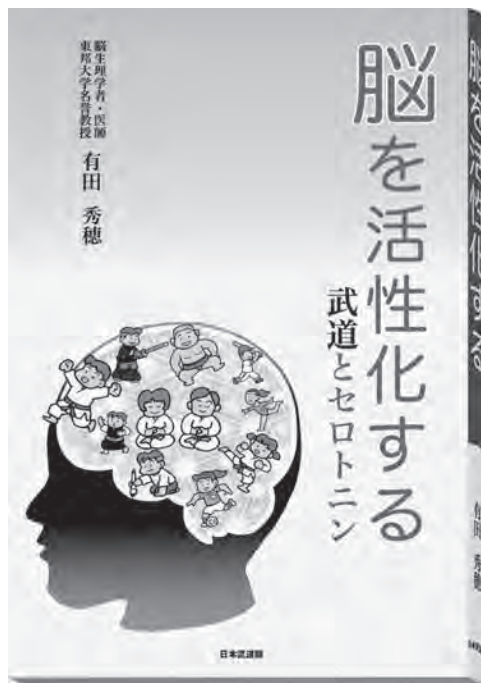
脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1,600円+税



有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。波東海大学医学部助手、筑邦大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。

主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン

ストレスとしごき

空海はセロトニン活性の達人

『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング

沢庵の「不動智」とワーキングメモリー

不動明王と心の三原色

『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識

悪夢を消すには？

精進料理とセロトニン合成

「茶の湯」とセロトニンの生活

「自然に体が動いた」を脳科学で解く

勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する

「武道の礼法」は社会脳を育む

相撲の「四股」は品性を育む

書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり

スキンシップとオキシトシン

空手の稽古は坐禅修行に通じる

脳は「丹田呼吸法」をどう操るか

試合における最適な覚醒状態

サイエンスは「気」をどこまで解明したか

仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長 松永 光

東邦大学名誉教授 有田 秀穂

： 他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

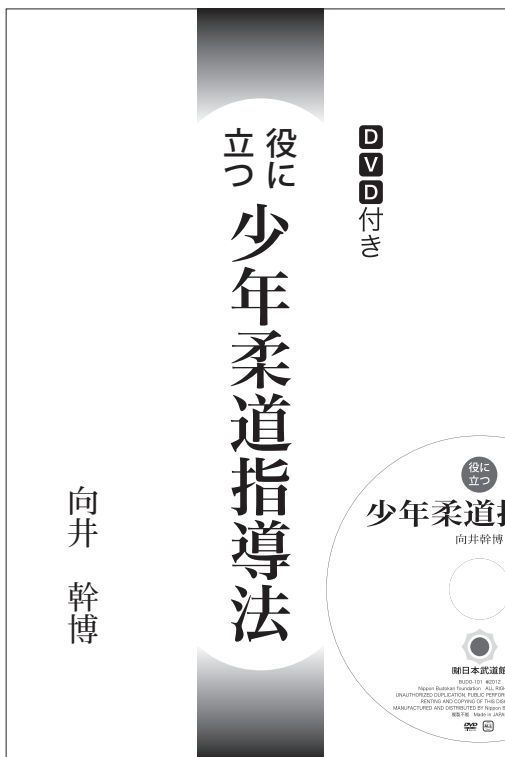
お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

好評発売中！

公益財団法人講道館道場指導部課長
向井幹博
(むかい みきひろ) 著

役に立つ
少年柔道指導法



A5判・並製・DVD付・414頁・本体2400円十税

収録時間170分を超える
解説DVD付属！

少年柔道指導の現場で役に立つ好評連載を単行本化。付録のDVDには、写真では伝わりにくかった部分を映像で紹介。
また、少年柔道が抱える様々な問題点を、講道館所蔵の柔道文献から、解決の糸口を探っていく。

〈目次〉

第1部 解説編	第9章 少年柔道の未来のために
第一章 少年柔道は柔道指導の原点	第二章 実技編
第二章 基本動作の指導	第一章 礼法の指導
第三章 技の指導	第二章 受け身の指導
第四章 教育の中の柔道	第三章 基本動作の指導
第五章 指導の工夫	第四章 トレーニング法の指導
第六章 少年規定の変遷と問題点	第五章 柔道の練習法
第七章 柔道の安全指導	第六章 投技の指導
第八章 東日本大震災への講道館の対応	第七章 固技の指導

編集・発行 **日本武道館**
 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
 ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
 日本武道館出版広報課
 までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158



空手道＝荒川講師による突きの指導

全国で初めて武道複数種目で実施 国際武道大学 2019 年度教員免許状更新講習 【選択講座（武道）】

全国初の武道複数種目（柔道・剣道・空手道・合気道・少林寺拳法）による教員免許状更新講習会が、千葉県勝浦市の国際武道大学で8月28日～30日に実施された。中学校・高等学校における教科体育（武道）の安全指導をテーマとして、保健体育科教員で柔道専門の5名、剣道専門の2名、少林寺拳法専門1名の計8名が参加した。

複数種目の武道による教員免許状更新講習会の実施は全国でも珍しい。実施に至った経緯を石井兼輔国際武道大学教授・柔道部部长に伺った。

以下、29日に行われた3種目の講義内容と受講者の感想を紹介する。

■空手道（講師Ⅱ荒川尊祐准教授）

石井教授は、中学校の次期学習指導要領に現代武道9種目が並列明記されること、また、スポーツ庁は本年度、武道等指導充実・資質向上支援事業において外部指導者の予算をとり、全国の中学校で複数種目のモデル授業を実施していることを挙げた。「本学では、昨年まで単一種目で教員免許状更新講習会选择講座【武道】を行っていたが、それでは武道の根幹は理解しづらい。そこで今年には柔道、剣道、空手道、合気道、少林寺拳法の5種目を実施することにした」と講習の趣旨とその意図を説明した。「多種目の武道指導者がいること、これが我が国際武道大学の強みです」と笑顔を見せた。

荒川講師は「空手に先手なし」という言葉がある。空手は攻撃から入るのではなく、受けから入る。空手は形と組手が競技化されたが、基本と実践の動きがかけ離れている。また、形は左右対称に出来ており、これによって利き手以外をしつかりと動かすことが出来る」と空手道の特性を説明した。

さらに「間合いでは、剣道とも通じるものがある。相手の考えていることを察知するために五感がある。そして五感には活用できる優先順位が存在する。視覚は実は3番目の順位。1番は触覚、2番が聴覚。五感の優先順位を知っているだけで間合いの取り方が格段に違ってくる。つ

さらに「間合いでは、剣道とも通じるものがある。相手の考えていることを察知するために五感がある。そして五感には活用できる優先順位が存在する。視覚は実は3番目の順位。1番は触覚、2番が聴覚。五感の優先順位を知っているだけで間合いの取り方が格段に違ってくる。つ



柔道の実技では、安全に配慮した段階的な技が紹介された



石井講師による柔道の講義

まり、見ているものが全てではない」と、他の武道にも通じる間合いについて理路整然と解説した。最後に「空手では、距離と間合いを組み合わせることで色々な可能性が出てくる」と結んだ。

次に実技の指導に入った。はじめに座礼、立礼を指導。「座礼では、戦いを想定して足は重ねない」「礼をするときは体幹を維持するため、一気に息を吐かない」。拳の握り方では「小指と親指で形を作り、柔らく握る」。突きの指導では「肩を上げると力が抜けてしまうので必ず肩を落とす」。気合いの指導では「腹から声を出して筋肉の緊張を和らげる」などのポイントを指摘した。最後は全日本空手道連盟が作成した中学校武道授業用の「基本形1」をわかりやすく指導した。「形には体幹をいかに安定するかという身体操作が含まれている。ぜひ他の武道のヒントにしてほしい」とまとめた。

■柔道（講師Ⅱ石井兼輔教授）

はじめに、石井講師は柔道の創設者である嘉納治五郎を取り上げ、「嘉

納治五郎は柔道の父、体育の父、教育の父、そして偉大なる国際人。オリンピック招致に熱意を持って取り組んだ」とその生涯を総括し、その生い立ちを説明した。

「かつて、嘉納先生は天神真楊流と起倒流柔術を学び、工夫を加えれば、『体育』『徳育』『知育』になり得ると考え、柔道を創設し、世に広めた」

次に、実技の指導が行われた。石井講師は、国際武道大学の授業で使っている指導資料をもとに説明。

「授業では、『○○のような技』でいいと思う。技を正確に教えるのではなく、安全に配慮した段階的な指導が大切」と生徒が主体となる授業の大切さを強調した。「武道は護身、礼法に加えて、トレーニングとして実施されてきた合理的なものである。授業では柔道で一番楽しい投技と、楽しさを見つけにくい受身をミックスして指導してほしい」と教科柔道のあり方を提案した。

受身の実技では、後ろ受身、前回り受身、横受身の指導法を紹介。後ろ受身は蹲踞の姿勢から押し相撲を取り入れて、ゲーム的な要素を入れ

て行っていく。前回り受身では、相手にうつぶせや四つん這いになってもらうなど、2人に四つん這いになってもらうなど、徐々に高さや距離を増していく指導法を伝授。横受身では、腕立て伏せのような姿勢をとってもらい、片方の腕を相手に持たせて一気に引いてもらうと簡単に横受身が取れることを説明した。

投技の指導では、相手に膝をついてもらい「膝車のような技」を例示。この際に、引手を絶対に離さないことが安全の留意点として挙げられた。他に「体落としのような技」、「内股のような技」、「大外刈のような技」が紹介された。「○○のような技」の指導は安全であり、投げる楽しさ、受身のタイミングを生徒が理解できる」と付け加えた。また、移動しながら投げると相手の重心も移動して、重い相手でも比較的楽に投げられることも紹介した。

最後に石井講師は「引手をしっかりと持って、投げる技を限定しても授業でも楽しく教えられるはずだ」と締めくくった。



小手抜の鉤手手法に興味を示す参加者



高坂講師は正中線を突くよう指導した

■少林寺拳法(講師II高坂正治准教授)

この日の最後は、高坂講師による少林寺拳法の2コマ目の実技となった。「生徒には少林寺拳法の技名と実際の動きのイメージがない。はじめにゴールのイメージを示すことが大切だ。その上で理論を説明してほしい」と授業の留意点を解説し、剛法の下受蹴を指導した。「原理として自分の正中線を守り、相手の正中線を攻めます」。

日本武道協議会作成の『中学校武道必修化指導書・DVD』で技を確認した後に、①下受、②中段蹴、③下がる——との号令をかけながら指導。次に号令をかけずに反復練習を行った。内受突の指導では、「生徒が力んだ時には、リラックスさせることが大切」として、突きをしゃがんで躲(かわ)して、相手の腹を触ることを紹介。続けて「しゃがむ、触るなど、日常動作を取り入れて生徒をリラックスさせる。さらに相手のお腹を触ることは正中線を突くことに繋がる。そして最後はしっかりと技の指導を行う」と、①技を指導する、②一度それを崩す、③最後にしっかりと指導すると、生徒の理解が深ま

りと指導すると、生徒の理解が深ま

ることを指摘した。次に柔法の小手抜と逆小手を紹介した。小手抜は、掴まれた右手を鉤手手法で梃子の原理を利用して、捻りながら手を抜く技。各道専門の参加者はこれに大いに興味を示していた。さらに、高坂講師はそのコツを付け加えた。「授業では生徒が痛く感じてはいけない。痛くなくとも技がしっかりかかっていたら、相手を崩すことができる」。

最後に壁に抑えられた時に抜き技を使って相手を逆に壁に抑えつける技が紹介された。「授業では、はじめにテーマを発表し、技を説明して実践し、講話と繋げていく。技を通して少林寺拳法の教えを理解し、日常生活に生かしてほしい。ぜひ武道の授業では、2種目は少林寺拳法を採択してほしい」と述べた。

【参加者の感想】

▽柔道専門の教員1

「柔道以外の種目を行うことで、柔道の授業でも多くのことを取り入れられると感じた」

▽剣道専門の教員1

「初めての種目がたくさんあり、こんな機会はないので貴重だった。今後の指導に精神的な面を含めて役立てたい」

▽剣道専門の教員2

「学校体育における武道9種目について専門の剣道や柔道は慣れ親しんでいたが、その他の競技・種目についての歴史や基本動作を体験することができ、貴重な機会だった。武道なので似ているところもあることを授業を通じて子どもたちに伝えていきたいと感じた」

▽柔道専門の教員2

「有意義で実りのある講習だった。中学校教員である私にとつて『武道』をしっかりと学ぶことができ、改めてそれぞれの種目の成り立ちや理念などを知り、9種目全てを生徒に知ってほしいと思った」



国際武道大学 2019年度教員免許状更新講習【選択講座（武道）】 概要

【講師一覧】

石井兼輔、丸橋利夫、山本利春、立木幸敏、荒川尊祐、高坂正治（敬称略）

【講義内容】

- ▽初日＝講義「学校・スポーツ現場での救急処置の重要性」（山本）、剣道「安全に親しめる剣道の初心者指導について」（丸橋）、少林寺拳法「少林寺拳法の特性について」（高坂）
- ▽2日目＝空手道「空手道の特性とねらい1」（荒川）、空手道「空手道の特性とねらい2」（荒川）、柔道「柔道の歴史と特性」（石井）、柔道「教科柔道における安全指導」（石井）、少林寺拳法「授業の展開例と安全指導」（高坂）
- ▽最終日＝合気道「初めての合気道」（立木）、講義「武道必修化の経緯」（石井）講義「部活動の歴史とその役割」（石井）、試験（筆記）「筆記試験テーマ＝教科体育（武道）における安全指導の重要点」（石井）

●複数種目の教員免許状更新講習選択講座【武道】を終えて

国際武道大学教授 石井兼輔



と」が子供たちにより深く理解されることが期待されます。

国際武道大学はその名の通り武道教育を特色とし、松前重義が1984年に創立した大学であります。本

学で実施されている教職課程・教科の科目（武道）は、柔道、剣道、空

手道、少林寺拳法、合気道、弓道、なぎなたの7種目です。

そこで、スポーツ庁の今年度予算・事業に対応した形で、今年度本

学が実施する教員免許状更新講習会选择講座【武道】において、柔道、

剣道、空手道、少林寺拳法、合気道の5種目の講座を開講いたしました。

各種目の講座では、「各種目の歴史と特性」を1時間の座学、「各種

武道の指導法と教科の評価法」について実技をまじえた2時間の講習

という構成で3時間行いました。そ

して、最終日に「中学校武道必修化への経緯」、「課外活動（部活動）の歴史とその役割」の二つの講座を行い、日程を終了しました。

受講者全員が武道の専門家で、教材開発に関して意見交換を行う場面も見受けられ、相互の理解を深めることができました。

講座を修了した現役の先生方から、「複数の武道種目を体験できたことがとても有意義であった」、「他の先生方にも聴講できる機会があれば良い」とのコメントが寄せられました。

今後は、複数種目のモデル実践校の見学を行い、そこで得た知見と今年度開講した内容を検討し、来年度の本講座開講に備えたいと考えています。

平成24年度から武道必修化（中学1・2年生）が実施されています。そして、新たに今年度学習指導要領からは9武道が並列明記されました。スポーツ庁では今年度の予算・事業で「複数種目のモデル実践校」を実施し、実施種目の多様化の検証が始まりました。これに伴い、外部指導者の活用を増やし専門性の高い教育を行うことで、目的である「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこ

好評発売中



神戸学院大学教授 前林清和 著
 (四六判・上製・370頁)

武道における身体と心

指導者必読！ 心身を一体的に鍛え高める武道人間学のすすめ。

本書は、「近世武芸書」に残された日本の伝統的身心論を読み解き、全人的教育を目指す武道のあり方を提言する著者渾身の一書。

【目次】

- プロローグ 武道に学ぶホリスティックな身体
- 第一章 日本人の身体観の源流—中世—
 - 第一節 武士の覚悟／第二節 禅と悟り／第三節 能楽の稽古
- 第二章 武道の心
 - 第一節 不動心／第二節 武道の悟り／第三節 駆け引き／第四節 目付／第五節 瞑想
- 第三章 武道の気
 - 第一節 気とは何か／第二節 気の歴史と武士／第三節 勝負と気／第四節 天道と心気／第五節 静と気／第六節 達人と気
- 第四章 武道の技と心身
 - 第一節 武道の型／第二節 柳生の技／第三節 武蔵の技／第四節 竹刀打込剣術／第五節 心法重視の型剣術／第六節 柔よく剛を制す／第七節 矩／第八節 鍛錬
- 第五章 人をつくる武道
 - 第一節 現代剣道と人間形成／第二節 佐川派大東流の技と修行／第三節 身を処する／第四節 死と生



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
 ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
 日本武道館出版広報課
 までどうぞ！

TEL03(3216)5147
 FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



武道

子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ



(B5判・236頁)

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・
銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、
すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。
大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

合気道は4話を掲載！



多田宏先生



磯山博先生



菅沼守人先生



東北大学学友会合気道部

「武道ツーリズム研究会」初会合

官民一体となって研究討議



国内外へスポーツの魅力を発信しようと、スポーツ庁は、スポーツツーリズムの需要拡大を図っている。その中で、「武道」が外国人にとって魅力的なコンテンツであるとして、「武道ツーリズム」を新規重点テーマと定めた。その具体策を官民で協議する武道ツーリズム研究会の初会合が、日本武道館役員や有識者、旅行会社などの委員、オブザーバーなど45名が出席し、9月2日、セレスティング芝ビルディングで開催された。

地域資源と掛け合わせて武道の魅力を国内外に発信し、武道人口の拡大、地域の活性化を図るとともに、インバウンドの促進を官民一体となって試みる。

研究会では、座長に選任された早稲田大学スポーツ科学学術院の原田宗彦教授が「武道ツーリズムは日本の最後の隠されたスポーツ資源です。全国に点在する指導者、道場などを有効に活かさない手はありません。海外の方も興味を示しています。スタートとなる本研究会での活発な議論をお願いします」と挨拶した。

続いて鈴木大地スポーツ庁長官が「本研究会は武道ツーリズムを推進・加速するため、官民の連携を図る新たな研究会です。武道は海外でも愛好者が多く、受け入れ体制を強化すれば、インバウンドのキーワードとなりうるものです。同時に、地域の活性化にも繋がるもので

す。武道の国際的なプレゼンスの向上、インバウンドの拡大、武道精神を国内外に発信していくいいチャンスだと思います。2020年に向けて武道ツーリズムを盛り上げていきましょう」と述べた。

▽スポーツ庁の取組みと今後の課題

次に議事にはいり、武道ツーリズムについてスポーツ庁が説明し、「スポーツ庁では、日本各地のツーリズムを視察し課題が見えてきた。ある地域では、武道指導者との連携がうまく取れておらず、地域レベルでの連絡体制の構築が必要」などその対策を分析した。

他にも多言語対応可能な人材の育



会合では、各地の事例が紹介された



三藤芳生
日本武道館常任理事・事務局長



鈴木大地
スポーツ庁長官



原田宗彦
早稲田大学スポーツ科学学術院教授

成やインバウンドの受け入れ環境整備の必要性を指摘。推進にあたっての対応策として、官民が連携したモデル事業の実施や、資源情報データベースの構築、インバウンドニーズの調査、普及・啓発のセミナーなどや世界武道 Games (仮称) の開催などを提起、最後に官民連携プロジェクト。モーションに向けた取組が述べられた。

▽日本武道館の武道事業との連携

三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長は、「武道は世界に5000万人の愛好者がいると言われています。そして、武道は殺傷性をもつ対人競技ですので、誰かに教わらないと技を習得できません。他のスポーツと違い、師匠のもとで修練するわけです。師匠と弟子の関係は一生続きます。また、武道では実は死者も生きています。嘉納治五郎先生の教えは現在の世界の柔道競技者に生きています。このように道の文化は世界に繋がっているのです。日本人の礼節、勤勉、清潔などは武道の精神そのものです」と語った。さらに、

日本武道館の月刊『武道』10月号から武道ツーリズムの連載を開始することや、また、来年の日本武道館増改修工事完了後、その柿落しとして、世界武道祭を10月に開催することを紹介した。

武道祭では日本の武道9種目とともに、世界の武道10種目の演武披露、ワークショップを行う予定であり、武道ツーリズムの需要拡大の引金となりうると言及。また、日本武道館が提唱し設立した全国規模の3団体(日本武道協議会・全国都道府県立武道館協議会・日本古武道協会)について、三藤常任理事・事務局長は「これらの組織の事業を有効活用すれば全国に武道ツーリズムが広まる可能性があります。課題としては、発信するコンテンツが足りません。これらの課題を改善すれば大きな成果があらがると思います」と語り、日本武道館の事業と武道ツーリズムとの連携の可能性について説明した。

▽「推進機構」で討議

このほか、日本航空が推進する

「SAMURAI KYUSHU」の取組や観光プロモーションを手がける株式会社アイサイトの山形県村山市での居合道抜刀体験プログラムなど各地の先行事例が紹介された。

会合では、武道ツーリズムを推進するための組織「武道ツーリズム推進機構(仮称)」の創設についての意見交換もあり、委員から「ライト層(初心者)にアプローチすることはビジネス、コア層(有段者)へのアプローチは指導者の育成に繋がっていくと思う。ライト層へは今までは違う手法で推進してもらえばと思う」などの意見が上げられた。

自由討議では、アドバイザーのデビッド・アトキンソン氏が「この研究会では、日本の立場での意見が多いため、海外から来日する側の意見などは考えられていない。まずはニーズを調査しないとけないと思う」などと指摘した。

研究会は、今後も定期的に開催され、より有効な武道ツーリズムの道を探っていく。

※武道ツーリズムについての詳細は、本誌138頁からの新連載「武道ツーリズムの輪を上げよう」をご覧ください。

好評発売中

平法

天真正伝香取神道流師範

大竹利典 著

天真正伝香取神道流

近世剣術の源流として知られる天真正伝香取神道流の全伝を受け継ぐ著者が、その膨大な武と知を語る。



(四六判・上製・296頁)

香取神道流の歴史、剣術・居合術・薙刀術・手裏剣術などの武術、方術・築城術などの遁甲術や軍学兵法を、伝書を基に紹介。
さらに、七十年近い修行人生を振り返り、武を志す全ての者に必要な「平法（へいほう）」の思想について語る。

目次

序章	香取神宮御出緒
第一章	歴史篇
第一節	経津主大神の真伝、 「天真正伝香取神道流」
第二章	修行篇
第一節	入門
第二節	林先生に師事
第三節	香取神道流最初の異国の門弟
第四節	流祖生誕六百年記念祭
第三章	技術篇
第一節	剣術
第二節	居合術
第三節	棒術・薙刀術・槍術、手裏剣術
第四節	柔術
第五節	忍術
第四章	軍学兵法篇
第一節	遁甲術
第二節	刀剣と密教
第五章	思想篇―全ての修行者へ
第一節	修行者の心得
第二節	兵法は平法なり ―平和を願う偉大なる教え



編集・発行 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



(B5判・上製・箱入・462頁)

古流武術研究家
横瀬 知行 著

日本の古武道

直接取材による2000枚の写真と豊富な資料で古流の全貌を紹介!

日本の古武道には長い歴史と伝統があり、流祖に始まる一子相伝の脈々たる生命の大河を貫く知恵と経験が一つの見事な体系となって現代に伝えられている。

第10回全国空手道指導者研修会

空手道の採用校拡大を目指して



基本形の全体指導

第10回全国空手道指導者研修会（主催Ⅱ日本武道館、全日本空手道連盟ほか）が8月16日～18日の3日間、東京・辰巳の日本空手道会館で、中学校保健体育科教員を中心に38名が参加して実施された。

中学校武道授業の充実に向けて、本年度から複数種類の武道推進モデル校が全国で実施されることに伴い、空手道の採用校増加がますます期待されている。そんな中、参加者たちは、中学校授業のために作成された基本形や約束組手に取り組んで、空手道授業の知識・技術・理解を深めた。



全道長
夫空手会
原本副盟
栗日連

て、「これまで全日本空手道連盟では中

開講式では、はじめに栗原茂夫全日本空手道連盟副会長が挨拶に立つ。学校での空手道授業採用に向けて地道に努力してまいりました。現在、272校が空手道授業を採用しております。本研修会で学んだことを是非地域の中学校で活用してください」と呼びかけた。



本理長
日任局長
芳常務
藤館事
三武道事

学校の新学習指導要領が実施され、空手

続けて、三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長が、「2年後には中道を含む武道全9種目が並列明記されます。また、本年度はスポーツ庁が外部指導者を活用した複数種類の武道推進モデル校を全国で実施します。皆さまの指導力の向上を期待しております」と述べた。



講師一覧

【講義講師】

栗原茂夫 (全日本空手道連盟副会長)

【講師】

岩城公二 (全国中学校空手道連盟副会長)

小山正辰 (森ノ宮医療大学特任教授)

日野一男 (実践女子大学・短期大学部名誉教授)

千葉佳永子 (近畿地区中学校空手道連盟常任相談役)

井下佳織 (麗澤大学准教授)

野中史子 (高知市立一宮中学校教諭)

【助講師】

松田 健 (名護市立小中一貫教育校屋我地ひるぎ学園屋我地中学校教頭)

佐藤 彰 (神奈川県立平塚工科高等学校教諭)

中村武志 (全国中学校空手道連盟副理事長)

亀山 歩 (国士舘大学体育学部武道学科講師)

竹見国雄 (神奈川柔整鍼灸専門学校柔整科実技指導学科長)

【研修内容】

■初日

▽「2020年東京五輪に向けた取組・中学校武道必修化について」

(栗原茂夫)

(来年8月に迫った東京五輪で空手道が採用された経緯、世界の空手道の特長や教育効果などを説明)

▽『中学校武道必修化指導書』 武道編DVD視聴

▽基本技術「初級者」(千葉佳永子・野中史子・松田健)、「中級者」(井下佳織・中村武志・竹見国雄)、「上級者」(小山正辰・佐藤彰・亀山歩)

(初級者班では、礼法についての説明後、その場での突き、蹴り、移動基本(順突き、逆突き)を行い、基本形一の指導をした。最後に全員で基本形一を実施)

■2日目

▽中学校武道指導実践法①「空手道授業の現状」(岩城公二)

(新学習指導要領や複数種目実施のモデル校などについて説明後、基本形一、基本形二を実施)

▽安全対策「空手道における安全配慮と憲章の求める指導者像」(日野一男)

(空手道の技術そのものが原因で裁判になった事例は一件もない。今後指導者は、事故訴訟ゼロの厳守義務があると強調した)

▽中学校武道指導実践法②「団体形演武」(野中史子)

(基本動作確認後、基本形二、基本形三を行った。その後、団体形試合のリーグ戦を実施した)

■3日目

▽中学校武道指導実践法③「コンデイシヨニングストレッチ」(井下佳織)

▽中学校武道指導実践法④「約束組手」(小山正辰)

(上段、中段の受けや突きを行い、最後に上級者班3名チームが団体形と分解を発表した)



日本武道館の単行本

漫画家・別府大学教授
田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ

(B5判・236頁)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ! 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)／小笠原清忠(弓馬術)

日本武道館の歴史

日本武道館の歴史

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



武道

子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



大先輩に聞く

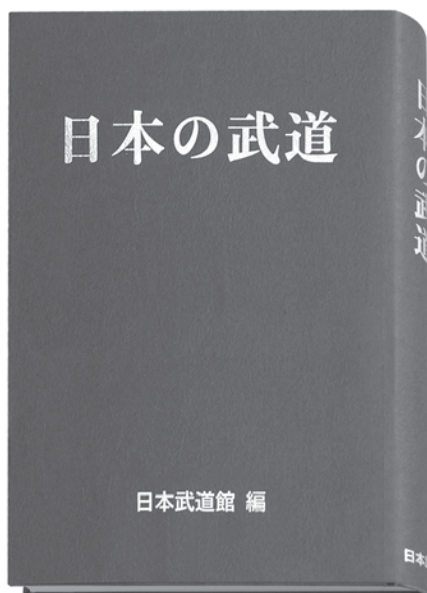
月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法なごなな銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書



日本武道館 編



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。